



ランナー調査研究レポート

【調査研究の結果概要】

- ◇大会満足度では、「大会プログラム」、大会ホームページやSNSによる「情報発信の頻度」、「ランナーへの応援・励まし・エール」について、95%以上のランナーが満足したと回答したほか、「情報発信の頻度」、「参加案内パンフレット」や「スタッフ・ボランティアの対応」のわかりやすさなどで高い評価となっている。
- ◇総合的な評価では、100点満点中、平均点が88.2点となった。(2018大会：87.2点、2017大会：87.0点、2016大会：88.6点、2015大会：86.7点、2014大会：84.4点)。ランナーの89.7%が次大会にも参加したいと回答している。
- ◇京都マラソンについての情報入手ルートは、男女ともに「ウェブサイト（PC・タブレット・スマートフォンなど）」が最も多く、男性は83.1%、女性は73.1%であった。
- ◇京都マラソンの参加理由について、京都市内在住のランナーの9割が「地元で行われる大会だから」と回答したのに対し、京都市外在住のランナーは「観光名所を走ることができるから」が最も多い回答であり、7割を占めた。

京都マラソン実行委員会事務局
(京都市文化市民局市民スポーツ振興室)

調査研究：京都マラソン 2019 マネジメント・リサーチ・チーム
同志社大学スポーツ健康科学部二宮研究室
龍谷大学経営学部松永研究室
立命館大学スポーツ健康科学部長積研究室

目次

- I. 京都マラソン 2019 の概要
- II. 京都マラソン 2019 の総括
- III. 調査研究の概要
- IV. 調査研究の分析
 1. 個人属性
 - 1-1)性別と年代 1-2)職業 1-3)世帯所得 1-4)最終学歴
 2. 京都マラソンの参加について
 - 2-1)京都マラソンの参加経験 2-2)京都マラソンのエントリー経験
 3. 大会満足度・評価
 - 3-1)大会満足度 1 (大会全体)
 - 3-2)大会満足度 2 (スタート)
 - 3-3)大会満足度 3 (コース)
 - 3-4)大会満足度 4 (フィニッシュ)
 - 3-5)スタート会場の衣類回収
 - 3-6)おつかれさま広場の利用
 - 3-7)おでむかえ屋台
 - 3-8)よかったと思う給食メニュー
 - 3-9)京都マラソンオリジナルマイカップの購入
 - 3-10)オリジナルマイカップを持参し、給水所での使用
 - 3-11)マイカップ・マイボトルを使った給水方法
 - 3-12)マイカップ・マイボトルを使用した感想
 - 3-13)2020 大会で同じような取り組みへの賛同
 - 3-14)大会事務局職員が自己負担で他大会に出走といった取組の評価
 - 3-15)総合的満足度
 - 3-16) 京都マラソン 2020 への参加意欲
 4. 大会参加
 - 4-1)京都マラソン会場までの交通手段
 - 4-2)自宅から会場までの所要時間
 - 4-3)宿泊の有無
 - 4-4)宿泊した場所
 - 4-5-1)性別による情報入手ルート
 - 4-5-2)年代別の情報入手ルート
 - 4-6-1)性別による参加理由
 - 4-6-2)年代別の参加理由
 - 4-7)過去の京都マラソンのボランティア経験
 5. 自由記述意見について

1. 京都マラソン 2019 の概要

第8回大会となる京都マラソン 2019 は、コース変更などハード面の変更がなかったことから、ランナーサービスを中心とするソフト面の改善及び新たな取り組みを幾つか導入した。

まず、安心・安全な競技運営に向けて、コース沿道の施設に A E D 配備の協力を依頼するとともに、救命処置時の目隠し用として、移動救護サポーターに A E D テントを配備した。また、心配蘇生時の対応を学ぶ「ファーストエイド講習」を充実させた。

ランナーサービスとして、市民ランナーを表彰する「京トップ8」の創設、女性表彰者への京友禅メダルリボンの作成、完走後の京都米おにぎり・オリジナル抹茶パンの提供、また、応援・盛り上げとして、ハイタッチゾーン、ファミリーボランティアの新設、「応援 Navi」の導入など新たな取り組みを実施した。

前回、環境に配慮した取り組みとして試験的に実施したオリジナルマイカップを、今回、希望するランナーに販売し、給水時の紙コップ削減に努めた。

ランナー募集について、ふるさと納税枠を 200 人増員するとともに、サブ 3.5・サブ 4 応援枠、ボランティア経験者枠、連続落選者枠、京都市民枠、東日本大震災復興支援枠を継続して募集した。

海外からは、39 の国及び地域から 2,419 人が参加した。

完走者は、16,723 人中 15,812 人となり、完走率は 94.6%であった。

以下の表において項目ごとに記述する。

		前回 (2018)
日 時	平成 31 年 2 月 17 日 (日) ※ 2 月第 3 日曜日 8:55 車いす競技 スタート 9:00 マラソン・ペア駅伝 スタート 15:00 マラソン・ペア駅伝 終了	※同左 (2月18日(日))
天 気	9 時 (スタート会場) 晴れ 10.6℃ 湿度 49% 15 時 (フィニッシュ会場) 晴れ 11.3℃ 湿度 50%	晴れ 6.7℃ 43% 晴れ 7.3℃ 28%
出走者	マラソン 16,289 人 } ペア駅伝 428 人 } 計 16,723 人 車いす競技 6 人 } (完走者 15,812 人、完走率 94.6%)	16,229 人 (15,343 人 94.5%)
競技コース	1 マラソン・ペア駅伝 西京極総合運動公園～平安神宮前 (42.195 km) (日本陸上競技連盟、国際陸上競技連盟及び国際マラソン・ ロードレース協会公認) 2 車いす競技 西京極総合運動公園～嵐山 (6.1 km)	同左
スタッフ数	約 14,500 人	約 14,600 人
応援人数	約 530,000 人	約 528,000 人
おこしやす広場 入場者数	約 26,400 人	約 26,200 人

II. 各取組の概要及び実施結果 (●は新規、○は拡充)

(1) 競技運営

・より安心・安全かつ円滑な競技運営に向けて、各種対策を充実強化。

取組	概要・実施結果
ア 走路対策	・積雪・凍結時に備え、除雪車等を配備（結果、不使用）
イ ランナー対策	・給水所で「京の水道 疏水物語」を使用 ○雨天・防寒対策として、全ランナーに簡易ポンチョを配布（配布方法を「受付会場で先着順」から「ランナー受付袋への封入」に変更） ・ランナーの防寒衣類をスタート会場で回収、リユース・リサイクル →1,760kg 回収（前回 2,180kg）
ウ 医療救護対策	・京都府医師会等、医療関係者の協力のもと、救護所・救護車、コース沿道の救護サポーターなどの体制を構築（AED124 台を配備） ●コース沿道での AED 配備施設に協力を依頼（京都外国語大学、京都光華女子大学：AED 計 3 台） ○心肺蘇生時の対応を学ぶ「ファーストエイド講習」の充実（2 回 定員 100 人→3 回 定員 150 人）→141 人参加（前回 82 人） ・救命講習を受けたランナー・ボランティアを対象にファーストエイドサポーターを募集→177 人登録（前回 122 人） ・緊急時の救護応急拠点となる「高度救急救護車」を配備 ●救命処置時の目隠し用として、移動救護サポーターに AED 救命テントを配備（15 張） ・救護 347 件（前回 374 件）、救急搬送 2 件（前回 9 件）※AED 不使用
エ 警備対策	・スタート・フィニッシュ地点における京都府警察と連携した会場等巡回、スタート地点における応援者手荷物検査等を実施 ・テロ対策を想定した関係機関（警察・消防・右京区役所等）との合同訓練を実施（平成 30 年 11 月 13 日） ・フィニッシュ会場において、テロ対策として車両進入を防ぐための警察車両を 4 箇所配置
オ ボランティア	・ボランティアの人材育成と裾野を広げるため、個人ボランティアリーダーを配置 →37 人参加（前回 35 人） ●スポーツへの関心を育み、支え合う精神を養うことを目的に、「ファミリーボランティア」を新設（小学校 5 年生～中学生 1～2 人につき 20 歳以上の大人 1 人の組合せ） →44 人参加

(2) 交通総量抑制対策等

大会当日を「ノーマイカーデー」に設定し、様々な媒体を通して市民や事業者、観光客等への広報・周知を行い、緊急自動車・公共交通機関の円滑な運行の確保に努めた。その結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生しなかった。

取組	概要・実施結果
ア 交通総量抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん・チラシ・ポスター・啓発グッズ・歩道橋横断幕、市バス・地下鉄広告など多様な媒体を活用した周知 →市民・事業者・観光客等の御協力の結果、大会に起因する大規模な交通渋滞は発生せず ・広域迂回・直近誘導対策等を実施 ●ホームページ上で時間帯別の交通規制内容をコース図に表示
イ 公共交通対策	<ul style="list-style-type: none"> ・市バス無料乗車券の配布、路線バス利用促進を広報 →14,072枚の利用（前回14,231枚） ・閉塞地において無料シャトルタクシーの運行 →8路線で実施、1,198人が利用（前回1,221人）
ウ 緊急車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府警察・消防局等と連携したランナーストップ体制を配備 →救急車通行のためランナーストップを1回実施（通行後速やかにレース再開） ・消防指令センターと警察本部の専用回線の設置及び人員配置等により、緊急車両通行時の連絡体制を確立

(3) 沿道住民合意形成

コース沿道等の住民・事業者に対し、チラシ等を各戸配布し、きめ細やかに情報提供を行うとともに、「固定式島方式」の設置等によるコース横断対策や速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置した。

取組	概要・実施結果
ア 説明・周知	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道住民・事業者（125,000世帯）へ交通規制マップ等を配布 ・市民しんぶんへの挟み込みや各施設等へチラシを配布
イ 通行・コース横断	<ul style="list-style-type: none"> ・ランナーの走行を妨げない「固定式島方式」を設置（13箇所） →18,406人が横断（前回比約3%減） ・ランナーの切れ目での横断誘導を実施
ウ 交通規制開始・解除	<ul style="list-style-type: none"> ・速やかな交通規制解除のための時間制限関門を設置（8箇所） ・大会ホームページを通じ規制解除情報を逐次発表 ○関門閉鎖後の走路上のランナー等を速やかに歩道へ誘導するため、競技役員による指導の強化及び多言語対応のプラカード等を配備

(4) メインコンセプトの具現化、ランナーサービスなど

大会のメインコンセプトの具現化に努めた。また、地域各団体・市民の御協力の下、京都ならではの温かいおもてなしや応援等により、大会を盛り上げた。

取組	概要・実施結果
ア メインコンセプトの具現化	
(ア)「DO YOU KYOTO?マラソン」	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日を「ノーマイカーデー」に設定 ・燃料電池自動車を大会車両の一部に導入 ・リユースごみ箱（541 個）の活用 ・給水・給食の未使用品をフードバンクへ提供 ・環境政策局及び京都市産業技術研究所と連携し、使用済小型家電から抽出した金を使用したリサイクル金メダルを優勝者に贈呈 ・ボランティア・スタッフウェアを回収し、クリーニングのうえ、次回大会で再利用 →5,765 着回収（前回比+965 着） ・看板等使用資材の再利用 ○給水の紙コップ削減を目的にオリジナルマイカップを導入 →3,348 個販売（前は先着 500 個を配布） ●京都市「DO YOU KYOTO?」大使に任命
(イ)東日本大震災復興支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「復興支援枠」の設定 →定員充足（240 人） ・東日本大震災被災地への義援金を募集 →7,684,166 円（前回 7,871,594 円） ●京都産業大学学生による「古本募金」を実施 →4,487 円を上記義援金に充当 ・復興支援メッセージをランナーゼッケンに印字 ・震災復興写真展や物産・飲食屋台を出展 ○東北開催 4 大会※との連携（ランナーの相互派遣） ※仙台国際ハーフ、会津若松市鶴ヶ城ハーフ、一関国際ハーフに加え、2019 大会から東北・みやぎ復興マラソンとも連携
イ ランナーサービス	
(ア) エントリー・ランナー受付	<ul style="list-style-type: none"> ○ふるさと納税枠を 200 人増枠（600 人→800 人） →前回は引き続き定員充足（800 人）
(イ)多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な案内看板を日本語・英語・繁体字・簡体字で表記 ・西京極陸上競技場フルカラーLED スコアボードを活用した多言語案内及び手話通訳を表示
(ウ)フィニッシュ後	<ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュ会場で足湯・マッサージ・みそ汁を提供 ・完走証を当日交付、「完走者新聞」（有料）の発行 ・ランナー参加案内で銭湯を紹介

	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツドリンクの配布及び給水所(京の水道疏水物語)の設置 ●「京都米おにぎり」と「オリジナル抹茶パン」を全ランナーに提供 ○シャトルバス（フィニッシュ会場→烏丸御池駅）の待ち時間改善のため、3台増便（32台→35台）
(エ)京都ならではの おもてなし	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア駅伝のタスキ、フィニッシュテープを西陣織で制作 ・コース周辺の観光名所案内サインを設置 ・給食に生八ツ橋を提供 ・フィニッシュ後に舞妓さんと写真撮影（有料） ○一般男子・車いす上位入賞者（1～3位）のメダルリボンを京くみひもで制作するとともに、新たに一般女子上位入賞者（1～3位）のメダルリボンを京友禅で制作
(オ)表彰	<ul style="list-style-type: none"> ●京都市民の男女上位8位までを表彰する、市民ランナー賞「京（みやこ）トップ8（エイト）」を新設 ●特別記録証の発行などランナーサービスを提供する「マラソンチャレンジカップ（MCC）」に参加 →マラソン男子で大会新記録を樹立（MCCから賞金30万円を授与）
(カ)コース	<ul style="list-style-type: none"> ●給水所でのティッシュの配架 ○ゴミ箱設置（約200m間隔）の周知による利用促進
ウ 応援、大会の盛り上げ	
(ア)市民ぐるみの盛り上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民しんぶん（1/15区版）で各区のランナーを紹介・応援 ・沿道盛り上げ隊（14箇所41団体）、市内23商店街による沿道応援 ○沿道盛り上げ隊の団体名及び内容を示す看板を設置 ●嵐山小学校付近にハイタッチゾーンを新設 ・車いす競技フィニッシュ会場における東嵐会によるおもてなし ・SNSでの情報発信。完走メダルデザイン投票にも活用 ●「健康長寿のまち・京都いきいきポイント手帳」の応募者プレゼントに京都マラソン出走権（1名分）を提供 ●応援者向けに「健康長寿のまち・京都いきいきアプリ」を活用した「沿道応援スタンプラリー」を実施→延べ523人参加 ・フィニッシュ会場に地元店によるおでむかえ屋台（応援者向け飲食ブース）を設置 ●岡崎公園野球場で京都サンガF.C.と京都フローラによるスポーツイベントを開催 ●ランナーの位置を地図上に表示するアプリ「応援navi」を導入 ●フィニッシュ会場に巨大こけし・花子を展示（京都文化カプロジェクトとの融合）
(イ)おこしやす広場	<ul style="list-style-type: none"> ・地元店等による飲食ブース、裏千家によるお茶席など京都ならではのおもてなしを実施 ・「伝統産業ふれあい館」職人による実演を実施 ・「ワールドマスターズゲームズ2021関西」のブースを設置し、告知活動を実施
(ウ)応援大使	<ul style="list-style-type: none"> ・6人が出走 ○京都出身の中村静香さん（女優／タレント）が就任

調査研究の概要

1. 調査目的

本調査は、（京都マラソン2019）参加ランナーを対象として、イベント満足度・評価、マラソン参加、個人属性などについて調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

2. 調査内容

(1) 個人属性

性別と年代、職業、世帯所得、最終学歴

(2) 京都マラソンへの参加について

京都マラソンの参加経験、京都マラソンのエントリー経験

(3) イベント満足度・評価

大会全体、スタート、コース、フィニッシュ、スタート会場の衣類回収、ランナー受付・おこしやす広場、おつかれさま広場の利用、給食メニュー、マイカップ・マイボトル、大会事務局職員が自己負担で他大会に出走といった取組の評価、京都マラソン2019の点数、京都マラソン2020の参加意欲

(4) 大会参加について

京都マラソン会場までの交通手段、自宅から会場までの所要時間、宿泊の有無、宿泊した場所、性別・年代別の情報入手ルート、性別・年代別の参加理由、京都マラソンのボランティア経験

3. 調査対象

京都マラソン2019の参加ランナー

4. 調査期間

2019年2月17日～3月9日

5. 調査方法

インターネット調査：京都マラソン2019公式サイトや参加案内パンフレットで告知するとともに、参加ランナーへのメール連絡において調査実施の案内を行った。承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン2019ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行った。

6. 回収結果

調査対象者：マラソンおよびペア駅伝の出走者（日本人）14,317人

有効標本数：3,108票（回収率：21.7%）

7. 調査研究の分析枠組み

本調査研究は、ランナー全体、性別、年代別によって類型化した京都マラソン参加者の行動様式を明らかにすることを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

本調査研究の分析枠組みでは、ランナー全体の行動様式を分析するために単純集計を行うとともに、イベント満足度・評価などの項目においてクロス集計を行うために独立変数（説明変数）として性別、年代別と居住地別（京都市内・市外）を設定した。従属変数（被説明変数）には、行動様式として、ランニング活動、イベント満足度・評価、マラソン参加を取り上げた。

※各項目のパーセントは、四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

調査研究の分析

1. 個人属性

京都マラソン2019ランナー調査結果の個人属性を見ていくと、性別では、男女比が3:1、年代は、男女ともに40歳代と50歳代が多く、次が30歳代となっており、40歳代と50歳代のランナーが全体の7割を占めている。

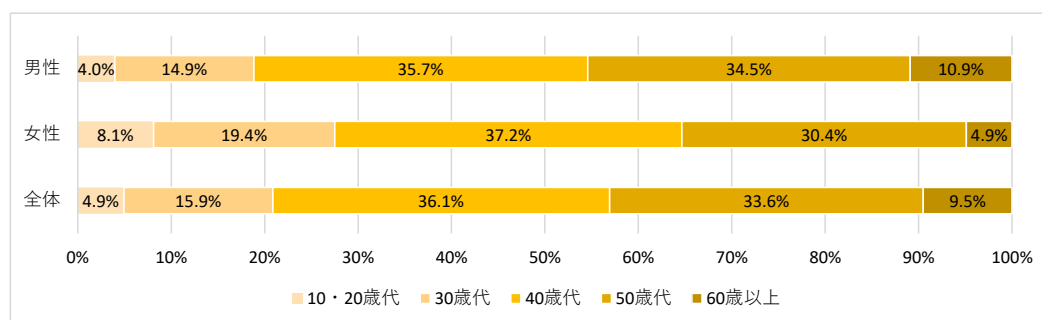
職業では、会社員・公務員が77.6%で最も多かった。世帯所得では、回答者の約4人に1人が1,000万円以上となった。最終学歴では、大学・大学院卒業または在学中が最も多く、回答者の約68%であった。

1-1) 性別と年代

図表1. 性別と年代

N=3,108

		10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計	
性別	男性	度数	94	352	845	816	258	2,365
		パーセント	4.0%	14.9%	35.7%	34.5%	10.9%	100.0%
	女性	度数	58	139	266	218	35	716
		パーセント	8.1%	19.4%	37.2%	30.4%	4.9%	100.0%
全体	度数	152	491	1,111	1,034	293	3,081	
	パーセント	4.9%	15.9%	36.1%	33.6%	9.5%	100.0%	

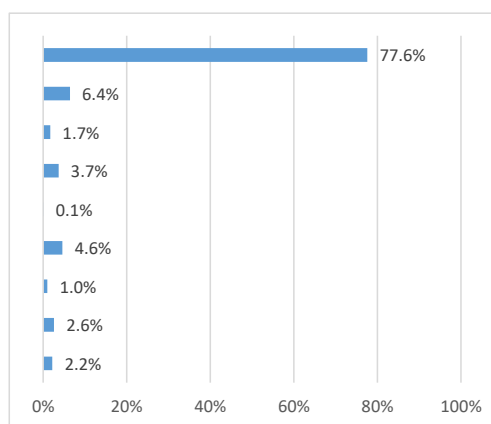


1-2) 職業

図表2. 職業

N=3,108

	度数	パーセント
会社員・公務員	2,370	77.6%
自営業	196	6.4%
主婦	51	1.7%
会社役員	113	3.7%
農林漁業	4	0.1%
パート・アルバイト	141	4.6%
学生	32	1.0%
無職	78	2.6%
その他	68	2.2%
合計	3,053	100.0%

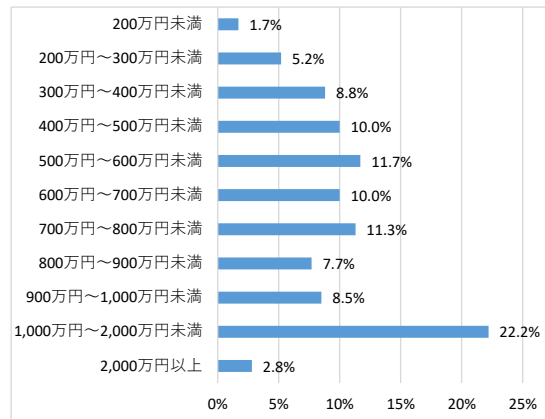


1-3) 世帯所得

図表3. 世帯所得

N=3,108

	度数	パーセント
200万円未満	49	1.7%
200万円～300万円未満	147	5.2%
300万円～400万円未満	249	8.8%
400万円～500万円未満	282	10.0%
500万円～600万円未満	331	11.7%
600万円～700万円未満	282	10.0%
700万円～800万円未満	319	11.3%
800万円～900万円未満	218	7.7%
900万円～1,000万円未満	241	8.5%
1,000万円～2,000万円未満	628	22.2%
2,000万円以上	79	2.8%
合計	2,825	100.0%

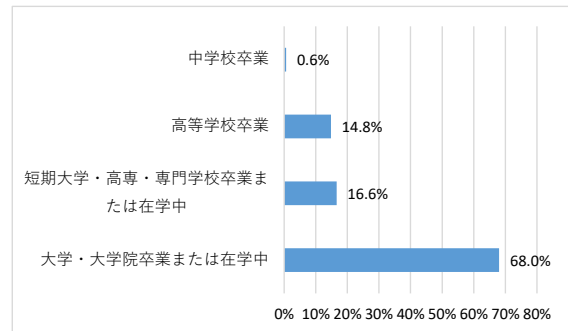


1-4) 最終学歴

図表4. 最終学歴

N=3,108

	度数	パーセント
中学校卒業	17	0.6%
高等学校卒業	446	14.8%
短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	501	16.6%
大学・大学院卒業または在学中	2,053	68.0%
合計	3,017	100.0%



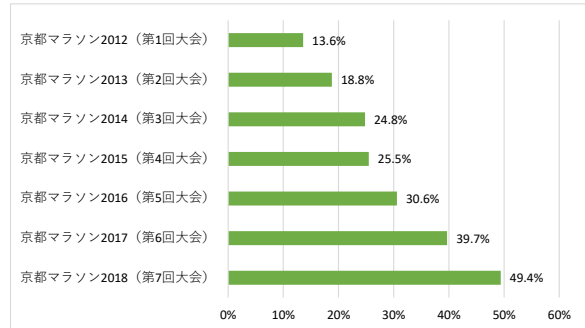
2. 京都マラソンへの参加について

京都マラソンの参加経験について、出場経験があると回答したランナーは1,469人であった。そのうち、約半数は京都マラソン2018に参加したことがある。京都マラソンのエントリー回数は、1回だけエントリーした回答者が34.8%であり、8回ともエントリーした回答者が6.1%であった。

2-1) 京都マラソンの参加経験

図表5. 京都マラソンの経験者の出場経験（複数回答）

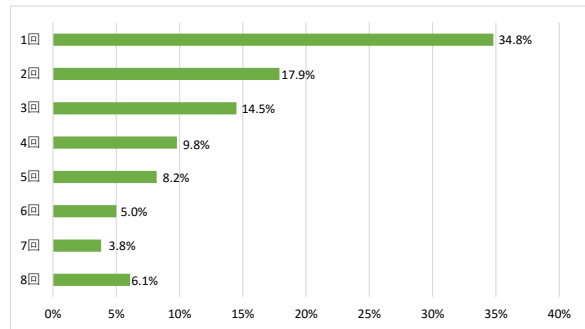
	N=3,108 n=1,469	
	応答数	パーセント
京都マラソン2012（第1回大会）	200	13.6%
京都マラソン2013（第2回大会）	276	18.8%
京都マラソン2014（第3回大会）	364	24.8%
京都マラソン2015（第4回大会）	375	25.5%
京都マラソン2016（第5回大会）	449	30.6%
京都マラソン2017（第6回大会）	583	39.7%
京都マラソン2018（第7回大会）	725	49.4%



2-2) 京都マラソンのエントリー経験

図表6. 京都マラソンでエントリー回数

回数	N=3,108	
	度数	パーセント
1回	1033	34.8%
2回	532	17.9%
3回	431	14.5%
4回	290	9.8%
5回	243	8.2%
6回	148	5.0%
7回	112	3.8%
8回	181	6.1%
合計	2970	100.0%



3. 大会満足度・評価

大会全体では、「スタッフ・ボランティアの対応」、「ランナーへの応援・励まし・エール」について、平均得点が5点満点中4.5以上になり、大会ホームページやSNS、啓発グッズの配布による「情報発信の頻度」、「参加案内パンフレット」や「大会プログラム」のわかりやすさ、などで高い評価となっている。その一方で、「大会参加料」、「コース全体の走りやすさ」では、ともに4人に1人が「やや不満・不満足」と回答しており、その他にも宿泊施設を利用されたランナーの中では、「宿泊施設の価格」に「やや不満・不満足」と回答しているランナーが多くなっている。

スタートの満足度では、「スタートブロックでの防寒着の着用」が高い評価となる一方、「トイレの数」では4分の1のランナーが「やや不満・不満足」と回答している。

コースの満足度では、「給水」、「沿道の応援」、「沿道盛り上げ隊」の平均得点が4.5以上であるのに対し、「コース設定」のうち、特にコース幅、折り返し、河川敷で「やや不満・不満足」と回答するランナーが約4割であり、アップダウンで「やや不満・不満足」と回答したランナーは約2割であった。「給水」、「当日完走証」や「フィニッシャータオル」、「完走メダル」などで9割以上のランナーが満足と回答している。

スタート会場の衣類回収では、利用したランナーは38.5%であったが、次回利用したいと回答したランナーは68.7%である。

「おつかれさま広場」を利用したランナーは約半数であった。「おでむかえ屋台」を利用したランナーは18.2%であった。良かったと思う給食メニューでは、いちごが61.5%と最も人気があり、次いでバナナ、生八ツ橋も人気が高かった。

オリジナルマイカップの購入については、2割弱のランナーが購入した。購入者のうち、6割弱のランナーが良い使用感であったと回答している。

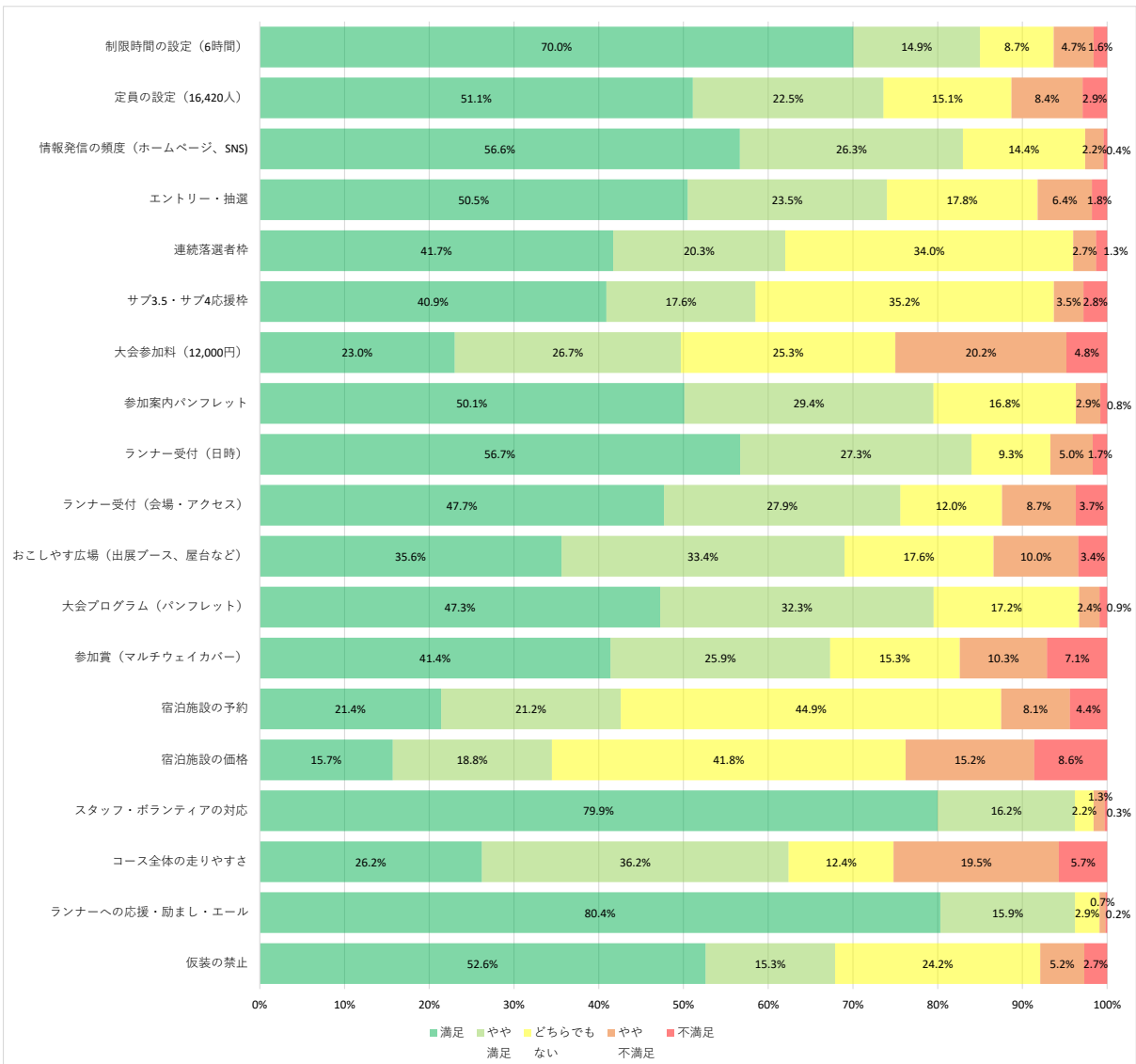
大会事務局職員が自己負担で他大会に出走といった取組の評価（100点満点）では、87.5点という評価になった。京都マラソン2019の点数については、総合的な評価では100点満点中、平均点が88.2点となった（2018大会：87.2点、2017大会：87.0点、2016大会：88.6点、2015大会：86.7点）。ランナーの89.7%が次大会にも参加したいと回答している。

3-1) 大会満足度1 (大会全体)

図表7. 大会満足度1

N=3,108

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
制限時間の設定 (6時間)	度数	2,125	453	263	143	50	3,034	4.47
	パーセント	70.0%	14.9%	8.7%	4.7%	1.6%	100.0%	
定員の設定 (16,420人)	度数	1559	687	461	257	87	3051	4.10
	パーセント	51.1%	22.5%	15.1%	8.4%	2.9%	100.0%	
情報発信の頻度 (ホームページ、SNS)	度数	1715	798	436	68	13	3030	4.36
	パーセント	56.6%	26.3%	14.4%	2.2%	0.4%	100.0%	
エントリー・抽選	度数	1532	712	541	195	55	3035	4.14
	パーセント	50.5%	23.5%	17.8%	6.4%	1.8%	100.0%	
連続落選者枠	度数	949	462	774	61	30	2276	3.98
	パーセント	41.7%	20.3%	34.0%	2.7%	1.3%	100.0%	
サブ3.5・サブ4応援枠	度数	937	403	805	80	65	2290	3.90
	パーセント	40.9%	17.6%	35.2%	3.5%	2.8%	100.0%	
大会参加料 (12,000円)	度数	702	817	773	618	147	3,057	3.43
	パーセント	23.0%	26.7%	25.3%	20.2%	4.8%	100.0%	
参加案内パンフレット	度数	1,529	899	513	88	25	3,054	4.25
	パーセント	50.1%	29.4%	16.8%	2.9%	0.8%	100.0%	
ランナー受付 (日時)	度数	1,735	836	285	153	53	3,062	4.32
	パーセント	56.7%	27.3%	9.3%	5.0%	1.7%	100.0%	
ランナー受付 (会場・アクセス)	度数	1,460	856	369	267	112	3,064	4.07
	パーセント	47.7%	27.9%	12.0%	8.7%	3.7%	100.0%	
おこしやす広場 (出展ブース、屋台など)	度数	1072	1008	530	301	104	3,015	3.87
	パーセント	35.6%	33.4%	17.6%	10.0%	3.4%	100.0%	
大会プログラム (パンフレット)	度数	1,445	985	524	72	26	3,052	4.23
	パーセント	47.3%	32.3%	17.2%	2.4%	0.9%	100.0%	
参加賞 (マルチウェイカバー)	度数	1,265	792	468	314	217	3,056	3.84
	パーセント	41.4%	25.9%	15.3%	10.3%	7.1%	100.0%	
宿泊施設の予約	度数	303	301	636	115	63	1,418	3.47
	パーセント	21.4%	21.2%	44.9%	8.1%	4.4%	100.0%	
宿泊施設の価格	度数	225	270	600	218	123	1,436	3.72
	パーセント	15.7%	18.8%	41.8%	15.2%	8.6%	100.0%	
スタッフ・ボランティアの対応	度数	2,452	497	69	40	9	3,067	4.74
	パーセント	79.9%	16.2%	2.2%	1.3%	0.3%	100.0%	
コース全体の走りやすさ	度数	805	1111	381	599	175	3,071	3.57
	パーセント	26.2%	36.2%	12.4%	19.5%	5.7%	100.0%	
ランナーへの応援・励まし・エール	度数	2,466	487	89	21	5	3,068	4.76
	パーセント	80.4%	15.9%	2.9%	0.7%	0.2%	100.0%	
仮装の禁止	度数	1,550	451	712	153	79	2,945	4.10
	パーセント	52.6%	15.3%	24.2%	5.2%	2.7%	100.0%	

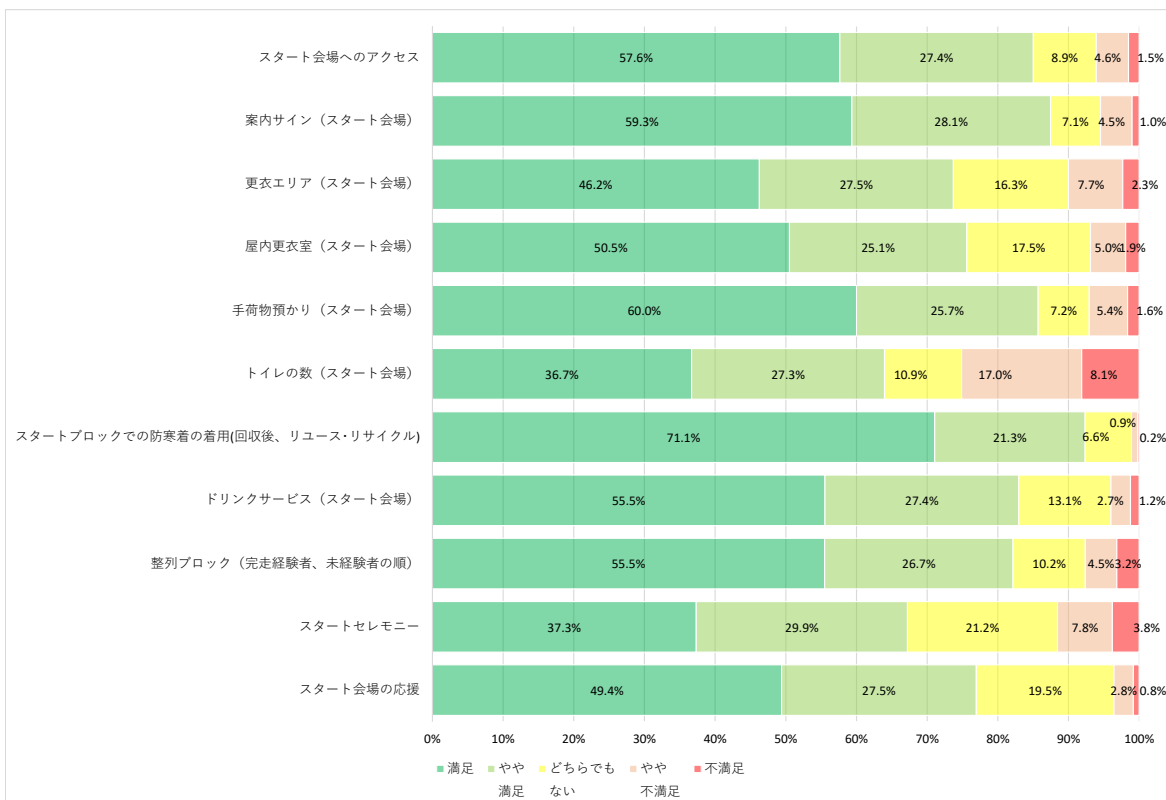


3-2) 大会満足度2 (スタート)

図表8. 大会満足度2

N=3,108

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
スタート会場へのアクセス	度数	1,765	838	273	140	46	3,062	4.35
	パーセント	57.6%	27.4%	8.9%	4.6%	1.5%	100.0%	
案内サイン (スタート会場)	度数	1,820	862	217	137	31	3,067	4.40
	パーセント	59.3%	28.1%	7.1%	4.5%	1.0%	100.0%	
更衣エリア (スタート会場)	度数	1,096	651	386	182	55	2,370	4.08
	パーセント	46.2%	27.5%	16.3%	7.7%	2.3%	100.0%	
屋内更衣室 (スタート会場)	度数	998	496	346	98	38	1,976	4.17
	パーセント	50.5%	25.1%	17.5%	5.0%	1.9%	100.0%	
手荷物預かり (スタート会場)	度数	1,810	776	218	164	49	3,017	4.37
	パーセント	60.0%	25.7%	7.2%	5.4%	1.6%	100.0%	
トイレの数 (スタート会場)	度数	1,092	813	325	506	242	2,978	3.67
	パーセント	36.7%	27.3%	10.9%	17.0%	8.1%	100.0%	
スタートブロックでの防寒着の着用 (回収後、リユース・リサイクル)	度数	1,921	575	178	23	6	2,703	4.62
	パーセント	71.1%	21.3%	6.6%	0.9%	0.2%	100.0%	
ドリンクサービス (スタート会場)	度数	1,297	640	305	64	29	2,335	4.33
	パーセント	55.5%	27.4%	13.1%	2.7%	1.2%	100.0%	
整列ブロック (完走経験者、未経験者の順)	度数	1,689	812	311	136	96	3,044	4.27
	パーセント	55.5%	26.7%	10.2%	4.5%	3.2%	100.0%	
スタートセレモニー	度数	1,132	906	644	235	115	3,032	3.98
	パーセント	37.3%	29.9%	21.2%	7.8%	3.8%	100.0%	
スタート会場の応援	度数	1,507	840	594	84	25	3,050	4.22
	パーセント	49.4%	27.5%	19.5%	2.8%	0.8%	100.0%	

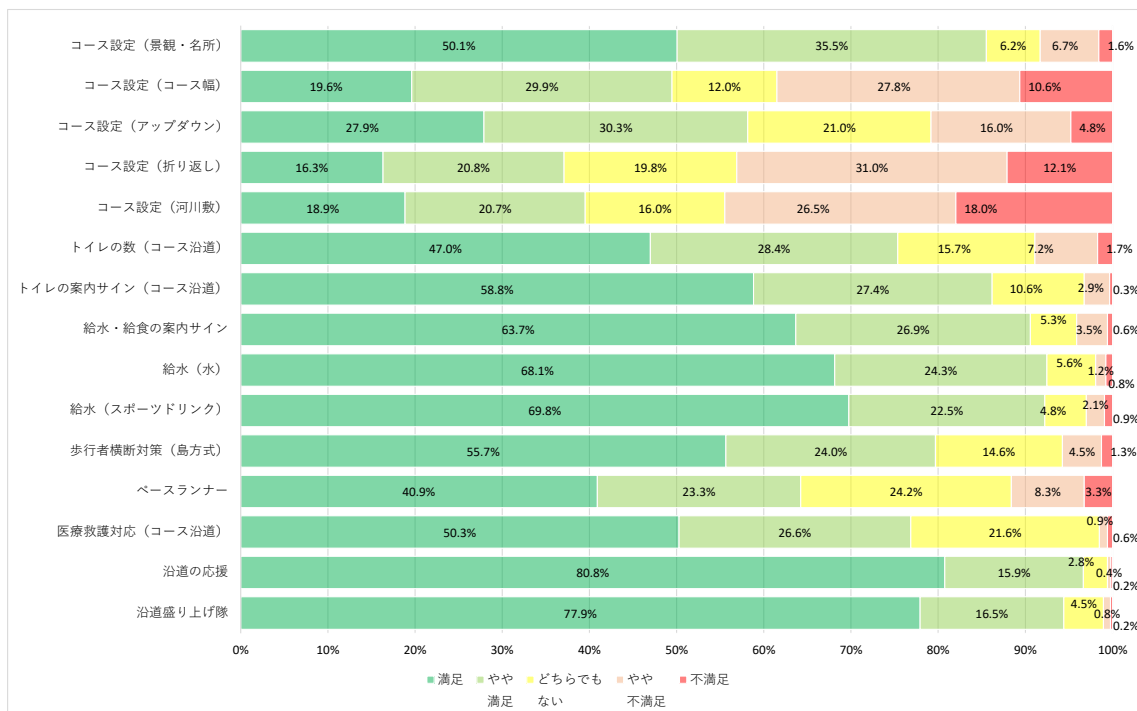


3-3) 大会満足度3 (コース)

図表9. 大会満足度3

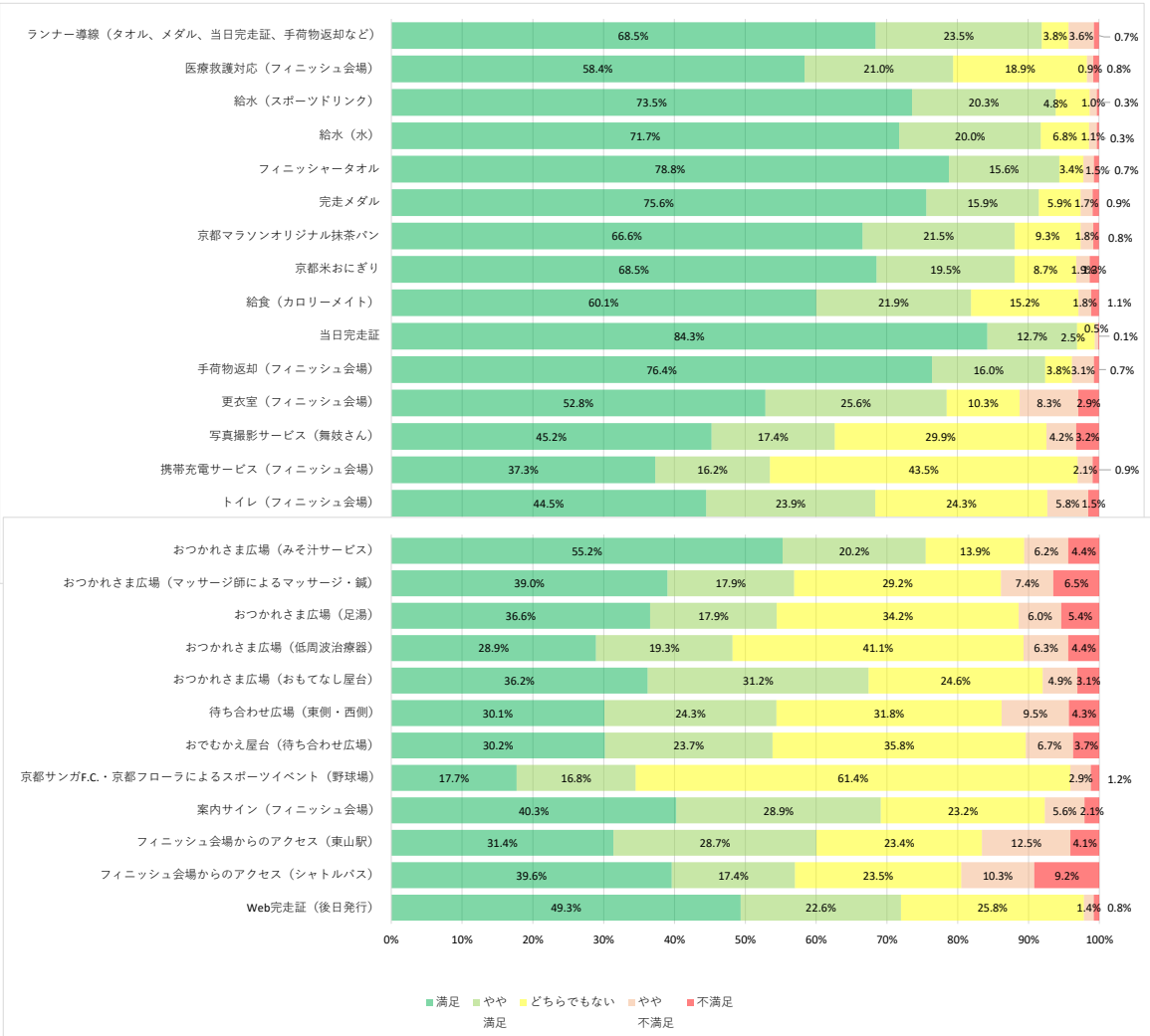
N=3,108

		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
コース設定 (景観・名所)	度数	1,539	1090	190	207	48	3,074	4.25
	パーセント	50.1%	35.5%	6.2%	6.7%	1.6%	100%	
コース設定 (コース幅)	度数	603	918	370	856	327	3,074	3.20
	パーセント	19.6%	29.9%	12.0%	27.8%	10.6%	100%	
コース設定 (アップダウン)	度数	857	929	646	492	147	3,071	3.60
	パーセント	27.9%	30.3%	21.0%	16.0%	4.8%	100%	
コース設定 (折り返し)	度数	501	637	608	951	371	3,068	2.98
	パーセント	16.3%	20.8%	19.8%	31.0%	12.1%	100%	
コース設定 (河川敷)	度数	577	632	490	811	550	3,060	2.95
	パーセント	18.9%	20.7%	16.0%	26.5%	18.0%	100%	
トイレの数 (コース沿道)	度数	1,129	682	378	173	41	2,403	4.11
	パーセント	47.0%	28.4%	15.7%	7.2%	1.7%	100%	
トイレの案内サイン (コース沿道)	度数	1,580	735	284	78	9	2,686	4.41
	パーセント	58.8%	27.4%	10.6%	2.9%	0.3%	100%	
給水・給食の案内サイン	度数	1,951	824	163	108	18	3,064	4.49
	パーセント	63.7%	26.9%	5.3%	3.5%	0.6%	100%	
給水 (水)	度数	2,071	740	170	36	23	3,040	4.58
	パーセント	68.1%	24.3%	5.6%	1.2%	0.8%	100%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	2,117	682	145	63	28	3,035	4.58
	パーセント	69.8%	22.5%	4.8%	2.1%	0.9%	100%	
歩行者横断対策 (島方式)	度数	1,682	726	440	136	38	3,022	4.28
	パーセント	55.7%	24.0%	14.6%	4.5%	1.3%	100%	
ベースランナー	度数	931	531	550	190	74	2,276	3.90
	パーセント	40.9%	23.3%	24.2%	8.3%	3.3%	100%	
医療救護対応 (コース沿道)	度数	965	510	415	18	11	1,919	4.25
	パーセント	50.3%	26.6%	21.6%	0.9%	0.6%	100%	
沿道の応援	度数	2,481	488	85	12	6	3,072	4.77
	パーセント	80.8%	15.9%	2.8%	0.4%	0.2%	100%	
沿道盛り上げ隊	度数	2,386	505	139	25	7	3,062	4.71
	パーセント	77.9%	16.5%	4.5%	0.8%	0.2%	100%	



図表10. 大会満足度4

							N=3,108	
		満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	合計	平均得点 (5点満点)
ランナー導線 (タオル、メダル、当日完走証、手荷物返却など)	度数	2,083	714	117	108	20	3,042	4.55
	パーセント	68.5%	23.5%	3.8%	3.6%	0.7%	100.0%	
医療救護対応 (フィニッシュ会場)	度数	938	338	303	15	13	1,607	4.35
	パーセント	58.4%	21.0%	18.9%	0.9%	0.8%	100.0%	
給水 (スポーツドリンク)	度数	2,213	611	146	31	10	3,011	4.65
	パーセント	73.5%	20.3%	4.8%	1.0%	0.3%	100.0%	
給水 (水)	度数	2,132	596	203	34	9	2,974	4.61
	パーセント	71.7%	20.0%	6.8%	1.1%	0.3%	100.0%	
フィニッシャータオル	度数	2,385	472	104	45	20	3,026	4.70
	パーセント	78.8%	15.6%	3.4%	1.5%	0.7%	100.0%	
完走メダル	度数	2,282	479	179	51	28	3,019	4.63
	パーセント	75.6%	15.9%	5.9%	1.7%	0.9%	100.0%	
京都マラソンオリジナル抹茶パン	度数	2,012	651	280	53	25	3,021	4.51
	パーセント	66.6%	21.5%	9.3%	1.8%	0.8%	100.0%	
京都米おにぎり	度数	2,082	593	263	59	41	3,038	4.52
	パーセント	68.5%	19.5%	8.7%	1.9%	1.3%	100.0%	
給食 (カロリーメイト)	度数	1,813	661	459	53	32	3,018	4.38
	パーセント	60.1%	21.9%	15.2%	1.8%	1.1%	100.0%	
当日完走証	度数	2,515	379	74	15	2	2,985	4.81
	パーセント	84.3%	12.7%	2.5%	0.5%	0.1%	100.0%	
手荷物返却 (フィニッシュ会場)	度数	2,300	483	114	92	21	3,010	4.64
	パーセント	76.4%	16.0%	3.8%	3.1%	0.7%	100.0%	
更衣室 (フィニッシュ会場)	度数	1,502	729	293	236	83	2,843	4.17
	パーセント	52.8%	25.6%	10.3%	8.3%	2.9%	100.0%	
写真撮影サービス (舞妓さん)	度数	586	226	388	55	41	1,296	3.97
	パーセント	45.2%	17.4%	29.9%	4.2%	3.2%	100.0%	
携帯充電サービス (フィニッシュ会場)	度数	356	155	415	20	9	955	3.86
	パーセント	37.3%	16.2%	43.5%	2.1%	0.9%	100.0%	
トイレ (フィニッシュ会場)	度数	870	468	476	113	29	1,956	4.04
	パーセント	44.5%	23.9%	24.3%	5.8%	1.5%	100.0%	
おつかれさま広場 (みそ汁サービス)	度数	1,007	368	254	113	81	1,823	4.15
	パーセント	55.2%	20.2%	13.9%	6.2%	4.4%	100.0%	
おつかれさま広場 (マッサージ師によるマッサージ・鍼)	度数	411	188	308	78	68	1,053	3.75
	パーセント	39.0%	17.9%	29.2%	7.4%	6.5%	100.0%	
おつかれさま広場 (足湯)	度数	352	172	329	58	52	963	3.74
	パーセント	36.6%	17.9%	34.2%	6.0%	5.4%	100.0%	
おつかれさま広場 (低周波治療器)	度数	251	168	358	55	38	870	3.61
	パーセント	28.9%	19.3%	41.1%	6.3%	4.4%	100.0%	
おつかれさま広場 (おもてなし屋台)	度数	534	460	363	72	46	1,475	3.92
	パーセント	36.2%	31.2%	24.6%	4.9%	3.1%	100.0%	
待ち合わせ広場 (東側・西側)	度数	466	376	493	147	67	1,549	3.66
	パーセント	30.1%	24.3%	31.8%	9.5%	4.3%	100.0%	
おでむかえ屋台 (待ち合わせ広場)	度数	371	292	440	82	45	1,230	3.70
	パーセント	30.2%	23.7%	35.8%	6.7%	3.7%	100.0%	
京都サンガFC・京都フローラによるスポーツイベント (野球場)	度数	148	141	514	24	10	837	3.47
	パーセント	17.7%	16.8%	61.4%	2.9%	1.2%	100.0%	
案内サイン (フィニッシュ会場)	度数	1,121	803	644	155	58	2,781	4.00
	パーセント	40.3%	28.9%	23.2%	5.6%	2.1%	100.0%	
フィニッシュ会場からのアクセス (東山駅)	度数	677	620	505	269	88	2,159	3.71
	パーセント	31.4%	28.7%	23.4%	12.5%	4.1%	100.0%	
フィニッシュ会場からのアクセス (シャトルバス)	度数	560	246	332	145	130	1,413	3.68
	パーセント	39.6%	17.4%	23.5%	10.3%	9.2%	100.0%	
Web完走証 (後日発行)	度数	1,000	459	524	28	17	2,028	4.18
	パーセント	49.3%	22.6%	25.8%	1.4%	0.8%	100.0%	



3-5) スタート会場の衣類回収

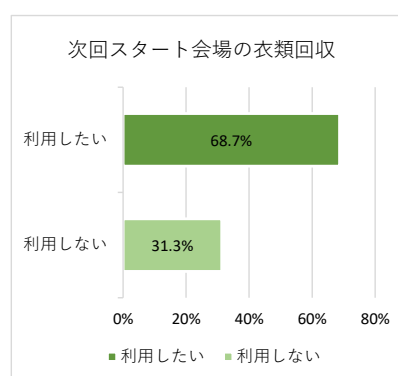
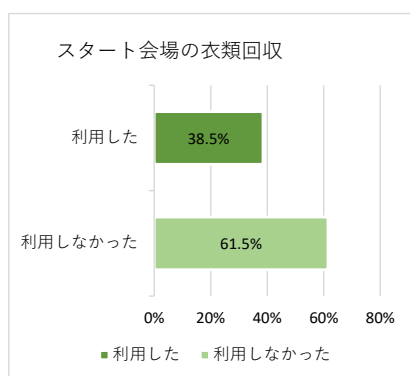
図表11. スタート会場の衣類回収

N=3,108

スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用した	1,196	38.5%
利用しなかった	1,907	61.5%
合計	3,103	100.0%

N=3,108

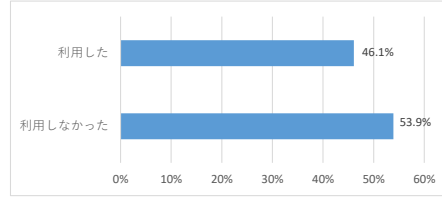
次回スタート会場の衣類回収		
	度数	パーセント
利用したい	2,129	68.7%
利用しない	971	31.3%
合計	3,100	100.0%



3-6) おつかれさま広場の利用

図表12. おつかれさま広場（みやこめっせ3階）の利用

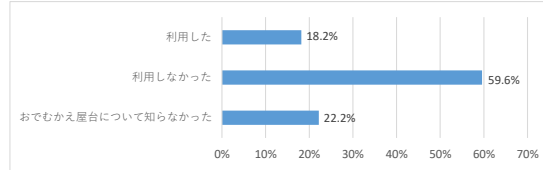
N=3,108		
	度数	パーセント
利用した	1,428	46.1%
利用しなかった	1,671	53.9%
合計	3,099	100.0%



3-7) おでむかえ屋台（ランナーも利用可・待ち合わせ広場）

図表13. おでむかえ屋台（ランナーも利用可・待ち合わせ広場）の利用

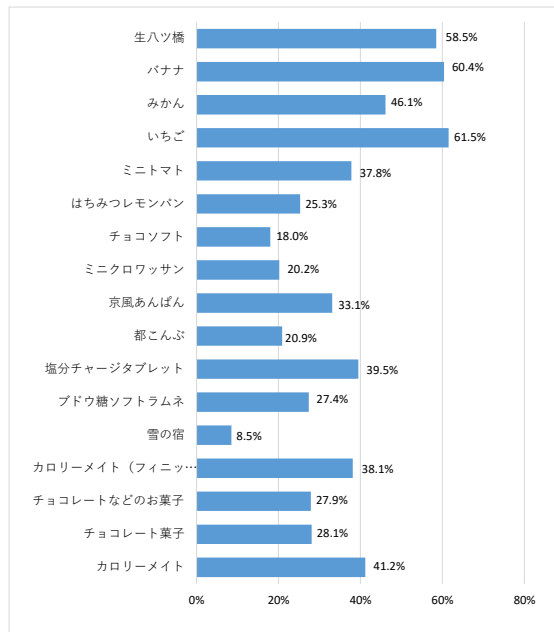
N=3,108		
	度数	パーセント
利用した	565	18.2%
利用しなかった	1,851	59.6%
おでむかえ屋台について知らなかった	690	22.2%
合計	3,106	100.0%



3-8) よかったと思う給食メニュー

図表14. よかったと思う給食メニュー（複数回答）

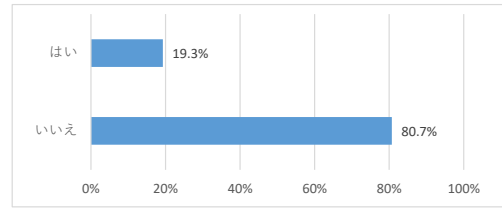
N=3,108、n=2,937		
	応答数	パーセント
生八ツ橋	1,718	58.5%
バナナ	1,773	60.4%
みかん	1,354	46.1%
いちご	1,807	61.5%
ミニトマト	1,109	37.8%
はちみつレモンパン	743	25.3%
チョコソフト	528	18.0%
ミニクワッサン	593	20.2%
京風あんぱん	972	33.1%
都こんぶ	613	20.9%
塩分チャージタブレット	1,161	39.5%
ブドウ糖ソフトラムネ	804	27.4%
雪の宿	249	8.5%
カロリーメイト（フィニッシュ会場）	1,118	38.1%
チョコレートなどのお菓子	819	27.9%
チョコレート菓子	771	28.1%
カロリーメイト	1,128	41.2%



3-9) 京都マラソンオリジナルマイカップの購入

図表15. オリジナルマイカップの購入

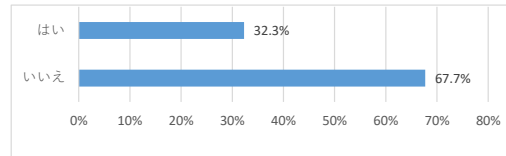
N=3,108		
	度数	パーセント
はい	600	19.3%
いいえ	2,503	80.7%
合計	3,103	100.0%



3-10) レース中、オリジナルマイカップを持参し、給水所での使用

図表16. オリジナルマイカップを持参し、給水所での使用

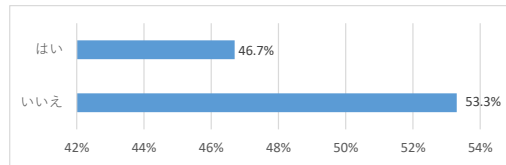
N=3,108		
	度数	パーセント
はい	193	32.3%
いいえ	404	67.7%
合計	597	100.0%



3-11) マイカップ・マイボトルを使った給水方法

図表17. 給水方法はスムーズでしたか

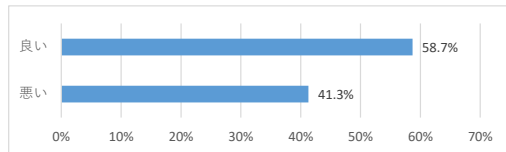
N=3,108		
	度数	パーセント
はい	177	46.7%
いいえ	202	53.3%
合計	379	100.0%



3-12) マイカップ・マイボトルを使用した感想

図表18. 使用した感想

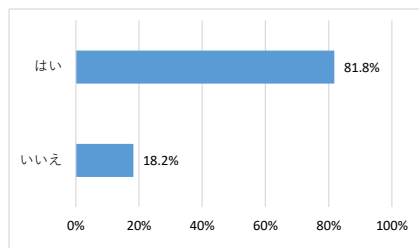
N=3,108		
	度数	パーセント
良い	210	58.7%
悪い	148	41.3%
合計	358	100.0%



3-13) 2020大会で同じような取り組みへの賛同

図表19. 2020大会で同じような取り組みへの賛同

N=2,902, n=2,841		
	度数	パーセント
はい	2,530	81.8%
いいえ	563	18.2%
合計	3,093	100.0%

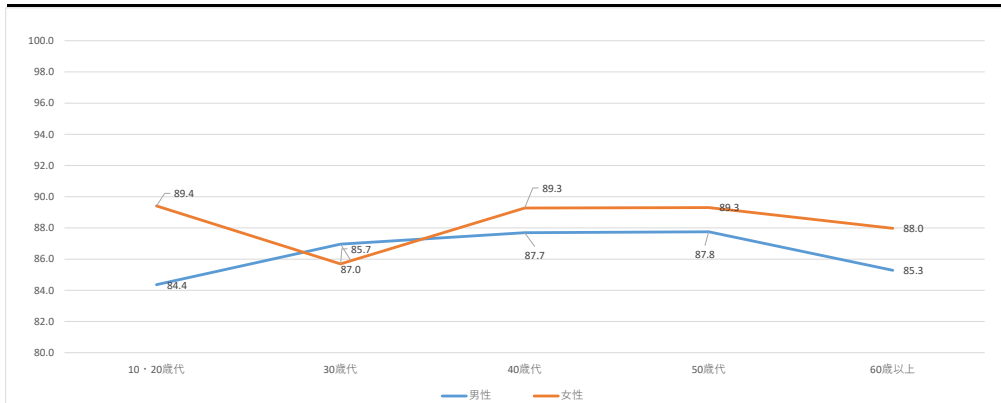


3-14) 大会事務局職員が自己負担で他大会に出走といった取組の評価

図表19. 大会事務局職員が自己負担で他大会に出走といった取組の評価 (100点満点)

N=3,108 n=3,073

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	84.4	87.0	87.7	87.8	85.3	87.2
女性	89.4	85.7	89.3	89.3	88.0	88.5
全体	86.3	86.6	88.1	88.1	85.6	87.5

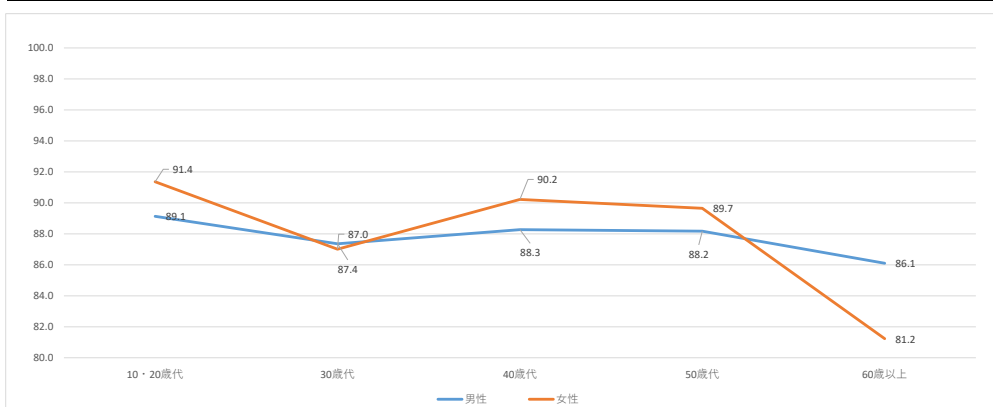


3-15) 総合的満足度

図表20. 総合的満足度 (100点満点)

N=3,108 n=3,077

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	89.1	87.4	88.3	88.2	86.1	87.9
女性	91.4	87.0	90.2	89.7	81.2	89.1
全体	90.0	87.3	88.7	88.5	85.5	88.2

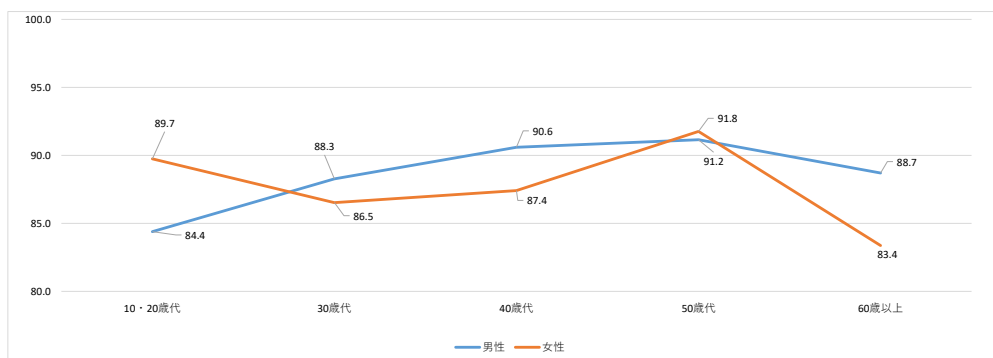


3-16) 京都マラソン2020への参加意欲

図表21. 京都マラソン2020への参加意欲 (100点満点)

N=3,108 n=3,066

	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	全体
男性	84.4	88.3	90.6	91.2	88.7	90.0
女性	89.7	86.5	87.4	91.8	83.4	88.6
全体	86.4	87.8	89.8	91.3	88.1	89.7



4. 大会参加

京都マラソン会場までは、電車が最も交通手段として使われている。自宅から会場までの所要時間では、完走タイムが速いランナーほど所要時間が長くなる傾向が見られた。

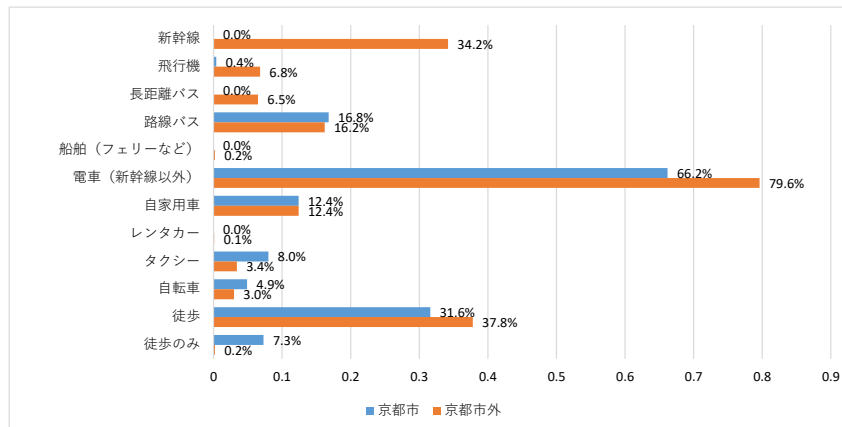
京都市外在住のうち約6割が宿泊している。情報入手ルートについては、ランナーの8割以上がウェブサイトを利用していると回答している。ウェブサイトでは、男性の方が利用する割合が高いのに対して、友人・知人・家族、SNSでは、女性の方の割合が高くなっている。

京都市外在住者の参加理由で最も多い回答は、観光名所を走ることができるからである。京都市外在住者の女性は男性よりも「観光名所を走ること」を参加理由としているランナーが多いのに比べ、男性は女性よりも「都市型市民マラソンだから」を参加理由としているランナーが多い。京都マラソンのボランティア経験のある回答者は全体の5.3%であった。

4-1) 京都マラソン会場までの交通手段

図表22. 京都マラソン会場までの交通手段（複数回答）

		居住地		合計
		京都市	京都市外	
新幹線	度数	0	874	874
	パーセント	0.0%	34.2%	
飛行機	度数	2	175	177
	パーセント	0.4%	6.8%	
長距離バス	度数	0	167	167
	パーセント	0.0%	6.5%	
路線バス	度数	92	414	506
	パーセント	16.8%	16.2%	
船舶（フェリーなど）	度数	0	6	6
	パーセント	0.0%	0.2%	
電車（新幹線以外）	度数	362	2,036	2,398
	パーセント	66.2%	79.6%	
自家用車	度数	68	318	386
	パーセント	12.4%	12.4%	
レンタカー	度数	0	2	2
	パーセント	0.0%	0.1%	
タクシー	度数	44	87	131
	パーセント	8.0%	3.4%	
自転車	度数	27	78	105
	パーセント	4.9%	3.0%	
徒歩	度数	173	968	1141
	パーセント	31.6%	37.8%	
徒歩のみ	度数	40	6	46
	パーセント	7.3%	0.2%	
合計（応答者数）		547	2,559	3,106

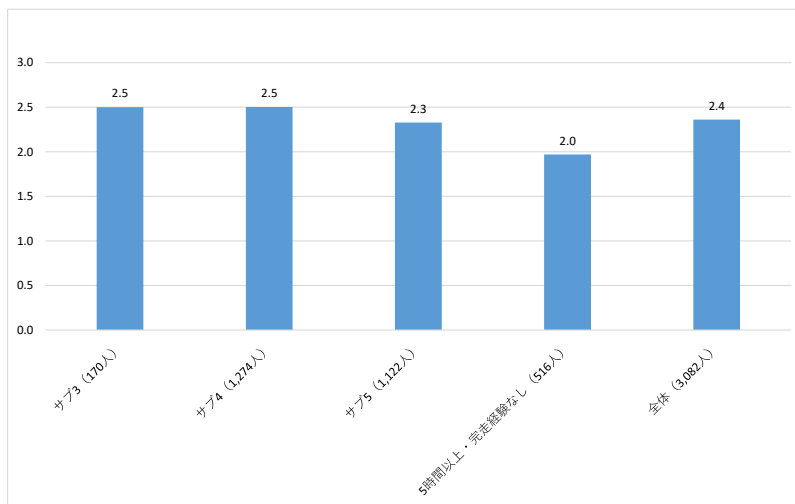


4-2) 自宅から会場までの所要時間

図表23. 自宅から会場までの所要時間(時間)

N=3,108

ランナータイプ	平均値
サブ3 (170人)	2.5
サブ4 (1,274人)	2.5
サブ5 (1,122人)	2.3
5時間以上・完走経験なし (516人)	2.0
全体 (3,082人)	2.4

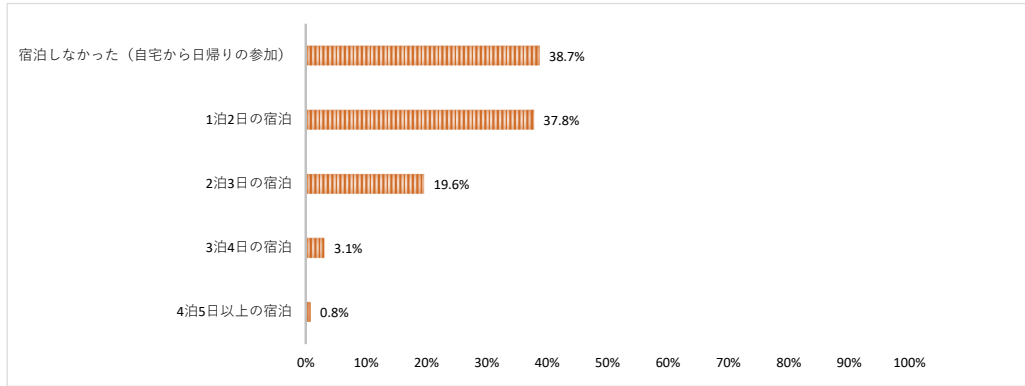


4-3) 宿泊の有無

図表24. 宿泊の有無（京都市外在住）

N=3,108

	宿泊しなかつた（自宅から日帰りの参加）	1泊2日の宿泊	2泊3日の宿泊	3泊4日の宿泊	4泊5日以上の宿泊	合計
度数	989	966	501	80	20	2,556
パーセント	38.7%	37.8%	19.6%	3.1%	0.8%	100.0%

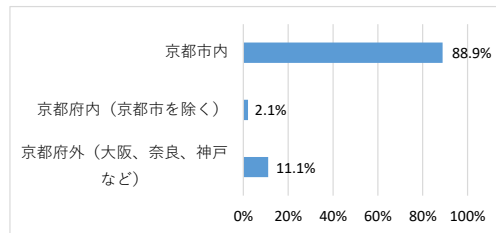


4-4) 宿泊した場所

図表25. 宿泊者の宿泊した場所（複数回答）

N=3,108、n=1,390

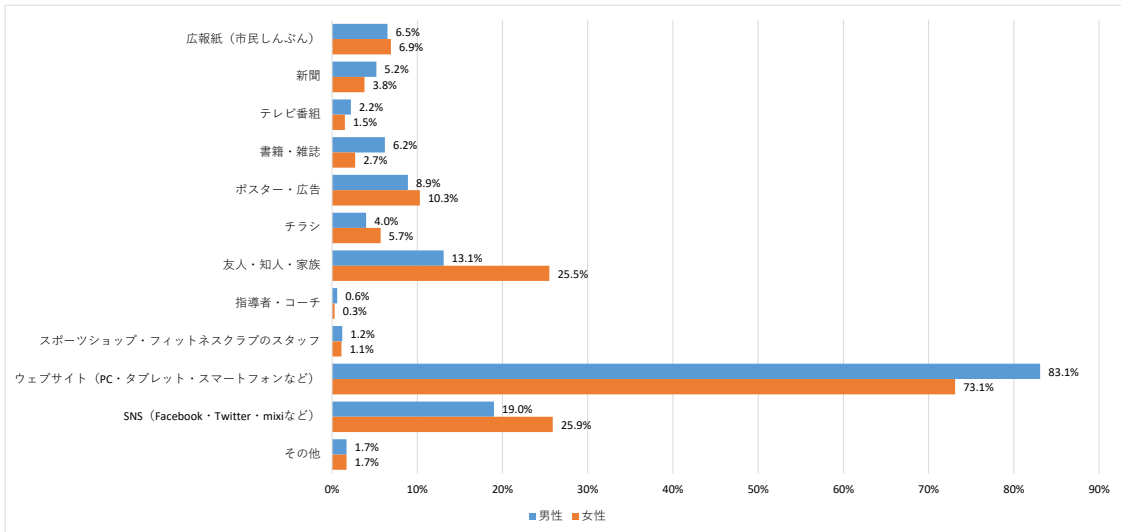
	応答数	パーセント
京都市内	1,390	88.9%
京都府内（京都市を除く）	33	2.1%
京都府外（大阪、奈良、神戸など）	174	11.1%



図表26-1. 性別による情報入手ルート（複数回答）

N=3,108 n=3,078

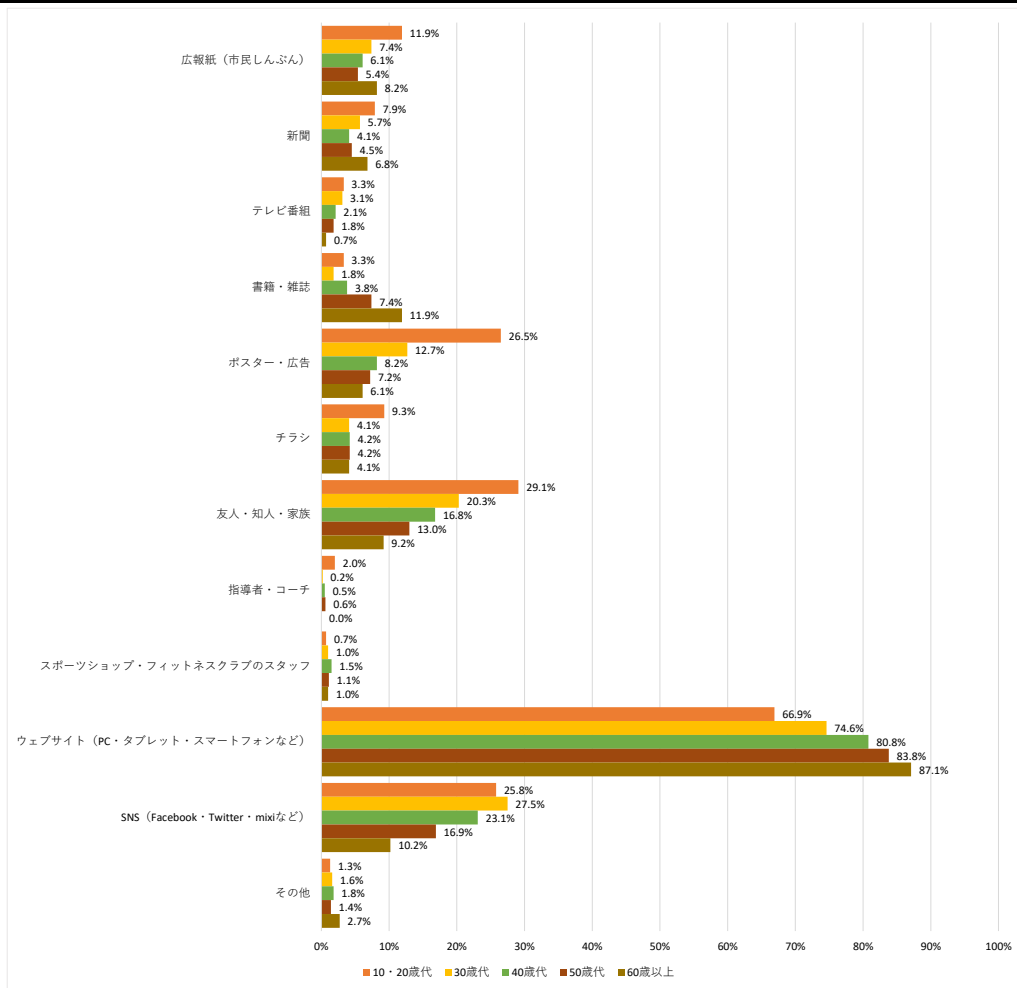
		広報紙（市 民しんぶん）	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・ 広告	チラシ	友人・知 人・家族	指導者・ コーチ	スポーツ ショップ・ フィットネ スクラブの スタッフ	ウェブサイト （PC・タブ レット・ス マートフォ ンなど）	SNS （Facebook ・Twitter・ mixiなど）	その他
男性	度数	153	124	53	147	211	94	309	13	29	1,963	449	40
	パーセント	6.5%	5.2%	2.2%	6.2%	8.9%	4.0%	13.1%	0.6%	1.2%	83.1%	19.0%	1.7%
女性	度数	49	27	11	19	74	41	182	2	8	523	185	12
	パーセント	6.9%	3.8%	1.5%	2.7%	10.3%	5.7%	25.5%	0.3%	1.1%	73.1%	25.9%	1.7%
合計	度数	202	151	64	166	285	135	491	15	37	2,486	634	52
	パーセント	6.6%	4.9%	2.1%	5.4%	9.3%	4.4%	16.0%	0.5%	1.2%	80.8%	20.6%	1.7%



図表26-2. 年代別の情報入手ルート (複数回答)

N=3,108 n=3,078

	広報紙 (市 民しんぶん)	新聞	テレビ番組	書籍・雑誌	ポスター・ 広告	チラシ	友人・知 人・家族	指導者・ コーチ	スポーツ ショップ・ フィットネ スクラブの スタッフ	ウェブサイ ト (PC・タ ブレット・ スマート フォンな ど)	SNS (Facebook ・Twitter・ mixiなど)	その他
10・20歳代	度数 18 パーセント 11.9%	12 7.9%	5 3.3%	5 3.3%	40 26.5%	14 9.3%	44 29.1%	3 2.0%	1 0.7%	101 66.9%	39 25.8%	2 1.3%
30歳代	36 7.4%	28 5.7%	15 3.1%	9 1.8%	62 12.7%	20 4.1%	99 20.3%	1 0.2%	5 1.0%	364 74.6%	134 27.5%	8 1.6%
40歳代	68 6.1%	45 4.1%	23 2.1%	42 3.8%	91 8.2%	47 4.2%	187 16.8%	5 0.5%	17 1.5%	897 80.8%	256 23.1%	20 1.8%
50歳代	56 5.4%	46 4.5%	19 1.8%	76 7.4%	74 7.2%	43 4.2%	134 13.0%	6 0.6%	11 1.1%	866 83.8%	175 16.9%	14 1.4%
60歳以上	24 8.2%	20 6.8%	2 0.7%	35 11.9%	18 6.1%	12 4.1%	27 9.2%	0 0.0%	3 1.0%	256 87.1%	30 10.2%	8 2.7%
全体	202 6.6%	151 4.9%	64 2.1%	167 5.4%	285 9.3%	136 4.4%	491 16.0%	15 0.5%	37 1.2%	2,484 80.8%	634 20.6%	52 1.7%

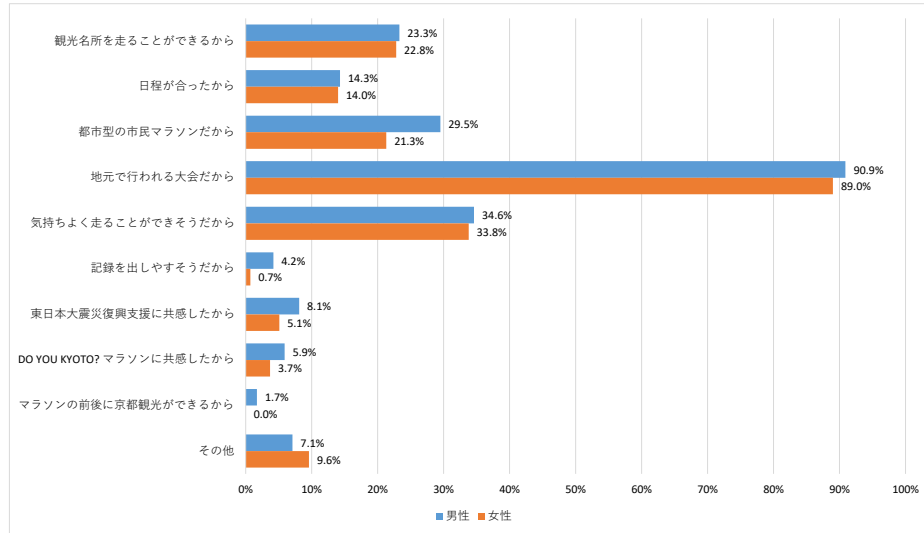


4-6-1) 性別による参加理由

図表27-1. 性別による参加理由 (京都市内)

N=3,108 n=543

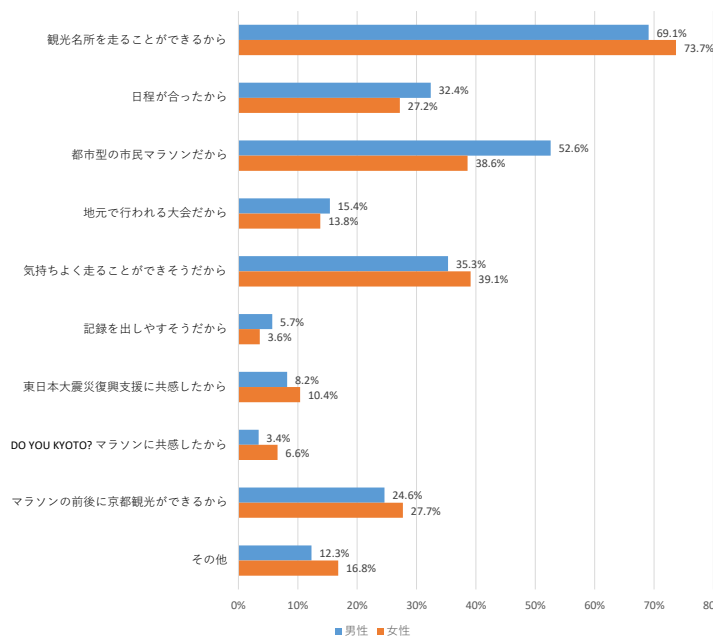
		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすいから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性	度数	95	58	120	370	141	17	33	24	7	29
	パーセント	23.3%	14.3%	29.5%	90.9%	34.6%	4.2%	8.1%	5.9%	1.7%	7.1%
女性	度数	31	19	29	121	46	1	7	5	0	13
	パーセント	22.8%	14.0%	21.3%	89.0%	33.8%	0.7%	5.1%	3.7%	0.0%	9.6%
全体	度数	126	77	149	491	187	18	40	29	7	42
	パーセント	23.2%	14.2%	27.4%	90.4%	34.4%	3.3%	7.4%	5.3%	1.3%	7.7%



図表27-2. 性別による参加理由 (京都市外)

N=3,108 n=2,541

		観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすいから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
男性	度数	1,353	634	1,030	302	691	111	161	67	481	241
	パーセント	69.1%	32.4%	52.6%	15.4%	35.3%	5.7%	8.2%	3.4%	24.6%	12.3%
女性	度数	426	157	223	80	226	21	60	38	160	97
	パーセント	73.7%	27.2%	38.6%	13.8%	39.1%	3.6%	10.4%	6.6%	27.7%	16.8%
全体	度数	1,784	793	1,255	382	918	132	224	106	646	340
	パーセント	70.2%	31.2%	49.4%	15.0%	36.1%	5.2%	8.8%	4.2%	25.4%	13.4%

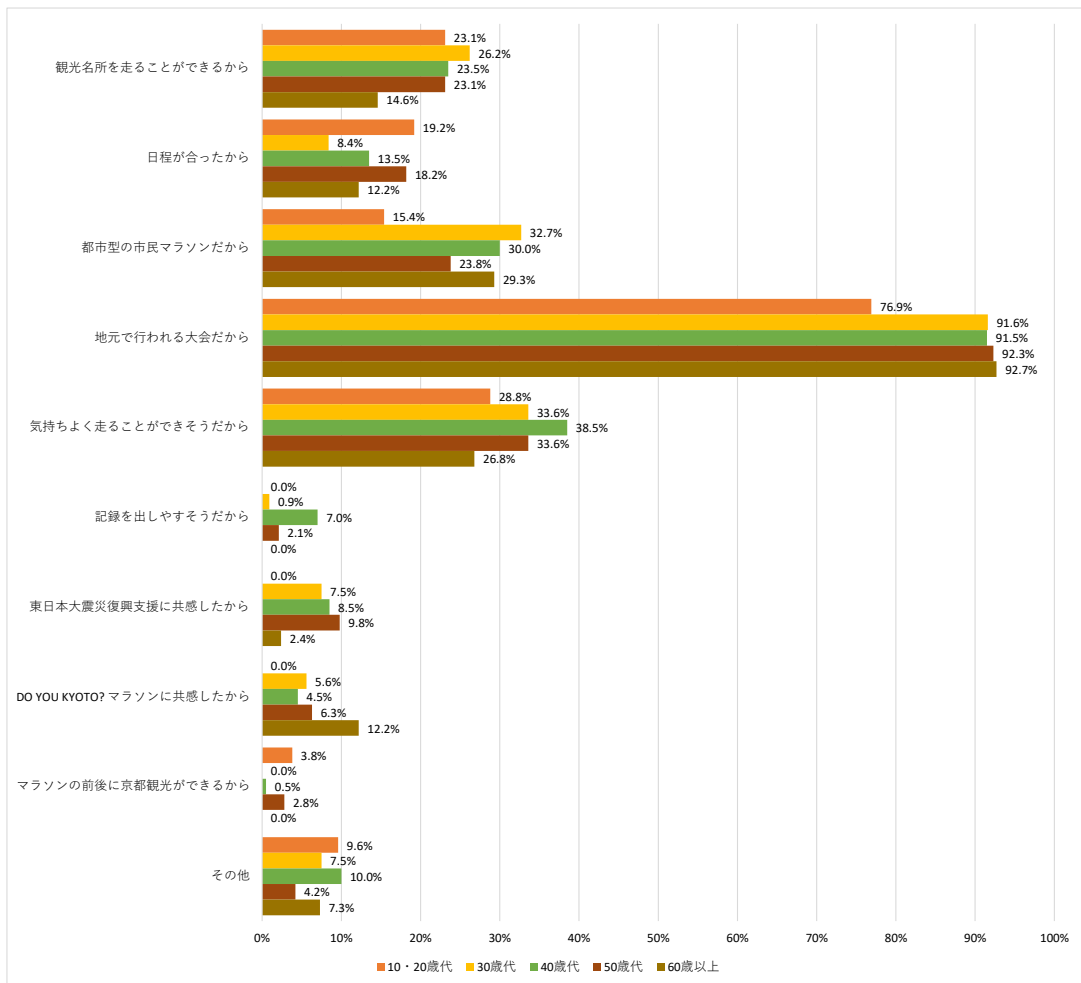


4-6-2) 年代別の参加理由

図表28-1. 年代別の参加理由（京都市内）

N=3,108 n=543

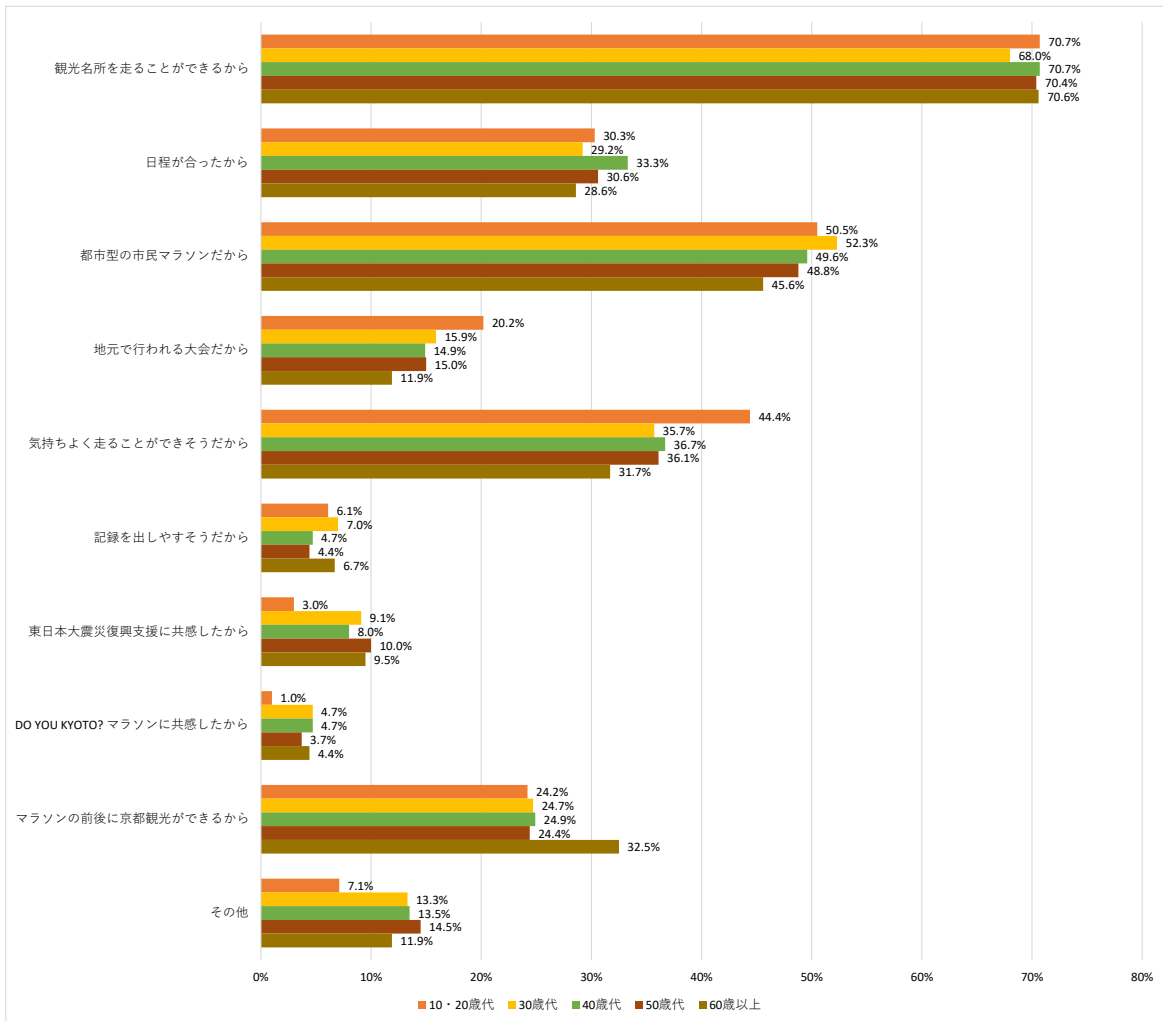
		観光名所を走 ることができ るから	日程が合った から	都市型の市民 マラソンだか ら	地元で行われ る大会だから	気持ちよく走 ることができ そうだから	記録を出しや すそうだから	東日本大震災 復興支援に共 感したから	DO YOU KYOTO? マ ラソンに共感 したから	マラソンの前 後に京都観光 ができるから	その他
10・20歳代	度数	12	10	8	40	15	0	0	0	2	5
	パーセント	23.1%	19.2%	15.4%	76.9%	28.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	9.6%
30歳代	度数	28	9	35	98	36	1	8	6	0	8
	パーセント	26.2%	8.4%	32.7%	91.6%	33.6%	0.9%	7.5%	5.6%	0.0%	7.5%
40歳代	度数	47	27	60	183	77	14	17	9	1	20
	パーセント	23.5%	13.5%	30.0%	91.5%	38.5%	7.0%	8.5%	4.5%	0.5%	10.0%
50歳代	度数	33	26	34	132	48	3	14	9	4	6
	パーセント	23.1%	18.2%	23.8%	92.3%	33.6%	2.1%	9.8%	6.3%	2.8%	4.2%
60歳以上	度数	6	5	12	38	11	0	1	5	0	3
	パーセント	14.6%	12.2%	29.3%	92.7%	26.8%	0.0%	2.4%	12.2%	0.0%	7.3%
全体	度数	126	77	149	491	187	18	40	29	7	42
	パーセント	23.2%	14.2%	27.4%	90.4%	34.4%	3.3%	7.4%	5.3%	1.3%	7.7%



図表28-2. 年代別の参加理由（京都市外）

N=3,108 n=2,541

	観光名所を走ることができるから	日程が合ったから	都市型の市民マラソンだから	地元で行われる大会だから	気持ちよく走ることができそうだから	記録を出しやすいから	東日本大震災復興支援に共感したから	DO YOU KYOTO? マラソンに共感したから	マラソンの前後に京都観光ができるから	その他
10・20歳代	度数 70 パーセント 70.7%	30 30.3%	50 50.5%	20 20.2%	44 44.4%	6 6.1%	3 3.0%	1 1.0%	24 24.2%	7 7.1%
30歳代	度数 261 パーセント 68.0%	112 29.2%	201 52.3%	61 15.9%	137 35.7%	27 7.0%	35 9.1%	18 4.7%	95 24.7%	51 13.3%
40歳代	度数 645 パーセント 70.7%	304 33.3%	452 49.6%	136 14.9%	335 36.7%	43 4.7%	73 8.0%	43 4.7%	227 24.9%	123 13.5%
50歳代	度数 627 パーセント 70.4%	273 30.6%	435 48.8%	134 15.0%	322 36.1%	39 4.4%	89 10.0%	33 3.7%	217 24.4%	129 14.5%
60歳以上	度数 178 パーセント 70.6%	72 28.6%	115 45.6%	30 11.9%	80 31.7%	17 6.7%	24 9.5%	11 4.4%	82 32.5%	30 11.9%
全体	度数 1,784 パーセント 70.2%	793 31.2%	1,255 49.4%	382 15.0%	918 36.1%	132 5.2%	224 8.8%	106 4.2%	646 25.4%	340 13.4%

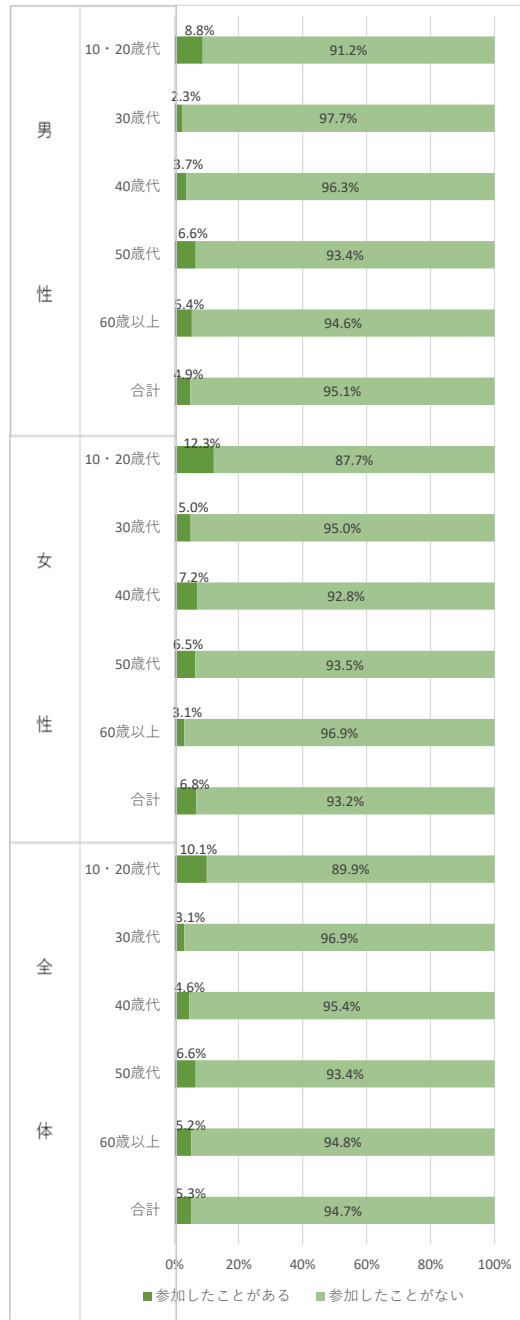


4-7) 過去の京都マラソンのボランティア経験

図表29. 京都マラソンのボランティア経験

N=3,108

		参加したことがある		参加したことがない		合計
男性	10・20歳代	度数	8	83	91	
		パーセント	8.8%	91.2%	100.0%	
	30歳代	度数	8	340	348	
		パーセント	2.3%	97.7%	100.0%	
	40歳代	度数	31	799	830	
		パーセント	3.7%	96.3%	100.0%	
	50歳代	度数	53	754	807	
		パーセント	6.6%	93.4%	100.0%	
	60歳以上	度数	14	243	257	
		パーセント	5.4%	94.6%	100.0%	
合計		度数	114	2,219	2,333	
		パーセント	4.9%	95.1%	100.0%	
女性	10・20歳代	度数	7	50	57	
		パーセント	12.3%	87.7%	100.0%	
	30歳代	度数	7	132	139	
		パーセント	5.0%	95.0%	100.0%	
	40歳代	度数	19	245	264	
		パーセント	7.2%	92.8%	100.0%	
	50歳代	度数	14	200	214	
		パーセント	6.5%	93.5%	100.0%	
	60歳以上	度数	1	31	32	
		パーセント	3.1%	96.9%	100.0%	
合計		度数	48	658	706	
		パーセント	6.8%	93.2%	100.0%	
全体	10・20歳代	度数	15	133	148	
		パーセント	10.1%	89.9%	100.0%	
	30歳代	度数	15	472	487	
		パーセント	3.1%	96.9%	100.0%	
	40歳代	度数	50	1,044	1,094	
		パーセント	4.6%	95.4%	100.0%	
	50歳代	度数	67	954	1,021	
		パーセント	6.6%	93.4%	100.0%	
	60歳以上	度数	15	274	289	
		パーセント	5.2%	94.8%	100.0%	
合計		度数	162	2,877	3,039	
		パーセント	5.3%	94.7%	100.0%	



5. 自由記述意見について

回答者の 64.6%にあたる 2,072 人から自由記述の意見をいただいた。その中で、特徴的な意見を以下のとおり 19 のカテゴリーに分けて列記し、大会事務局から次回大会へ向けての説明を付記しました。

(1) 定員・エントリー

3 時間以内のランナーにアスリート枠を設けて抽選なしでエントリーできる取り組みはどうか？記録向上を目指すモチベーションのひとつにもなります。
--

大会をスムーズに運営するための現在の定員数ではあると思うが、定員をもう少し増やしてより多くの人に京都マラソンを体験できるようにして欲しい。

【次回大会に向けて】

京都マラソンは市民参加型のマラソンとして位置づけているため、3 時間以内のアスリート枠は設けておりませんが、今回の大会から、京都市民男女各上位 8 位に入賞された方を「京トップ 8」として表彰し、次回大会の出走権を贈呈しております。

また、目標タイムの達成を目指してトレーニングを積んでいる市民ランナーを応援するための「サブ 3.5・サブ 4 応援枠」は大変好評をいただいております、引き続き、京都マラソンを出走したいランナーへ向けた幅広い応援枠として継続してまいります。

募集枠及び定員については、皆様からのご意見に耳を傾けながら、安心・安全かつ快適に走っていただけるよう今後も改善に努めてまいります。

(2) ランナー受付

前日の受付をもっとスムーズに進められるように工夫してほしい。

受付での 1 人にかかる時間が長すぎると思います。

ナンバーカードなどを事前に郵送して、当日受付もできるようにしてほしい。

事前受付（前日・前々日）は代理受付を可能にするか、ゼッケンを郵送等を考えて欲しい。

遠方者(他府県からの参加者)には当日受付か事前にナンバーカードを送付してほしい。
--

【次回大会に向けて】

ランナー受付については、スムーズな運営を心掛けていますが、2020 大会でもストレスがない受付を目指して工夫を重ねてまいります。

代理受付やナンバーカードの事前送付については、多くのご要望をいただいておりますが、京都マラソンでは、安心・安全な大会運営のためにはランナーの皆さんに本人確認をしたうえで直接お渡しすることが重要であると考えております。そのため、代理受付やナンバーカードの事前送付をしておりません。

また、大会当日、スタート会場での受付についても、16,000 名を超える京都マラソンでは、時間的にもスペース的にも極めて難しく、運営上厳しい状況にあります。

何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

(3) オフィシャルグッズ

遠方からの参加だと到着が遅くなり、売り切れていて、手に入りづらいのが残念です。
公式グッズの数量が少なすぎてまったく購入できなかった。少なくともスタート時点まで売り切れないようにしてほしい。特にTシャツは前日の受付時で売り切れていた。
オフィシャルグッズの量が少なすぎる気がする。土曜日のお昼頃行ったがTシャツが無く残念だった。

【次回大会に向けて】

オフィシャルグッズについては、大変ご好評をいただき、特にTシャツについては、毎年、売り切れている状況で誠に申し訳ございません。

多くの方に満足していただけるよう種類及び数量を充実させ、より魅力ある商品を十分に提供することができるよう努めてまいります。

(4) スタート会場

スタート前のドリンクサービスの場所がわからず、利用できないままスタートしました。
スタート会場でのトイレが非常に混雑していて、スタート直前までトイレに並んでいた。スタッフの人にはうまく誘導してほしい。
スタート会場のトイレの前で持っている「個室」「小」の看板はよかった。できれば「個室」の表示にトイレの基数も書いてほしい。並ぶ列の人数を考慮してトイレを選びやすい。
大会当日、会場までのバスを増便して欲しい。遠くから参加する人は、早く受付に行けないので、着いた時には既に売り切れで、電車での移動は、土地勘もないのに不安です。
スタート時の衣類回収システムが大変良かった。

【次回大会に向けて】

会場案内図やサインボードなどを各所に設置するとともに、スタッフによる案内に努めておりますが、応援の方を含む多数のご来場者の中ではっきり視認できなかった方もいらっしゃったようで誠に申し訳ございません。会場のレイアウトがよりわかりやすくなるよう案内表示を工夫し、スタッフによる的確な誘導のもと目的の場所へスムーズに行けるよう改善してまいります。

トイレについても、余裕をもった配置を心掛けておりますが、スタッフの誘導不足で、大変ご迷惑をおかけしました。誘導看板の表示内容や混雑状況をお伝えできるよう努めてまいります。

スタート会場までのアクセスについてもご負担をおかけしておりますが、ランナーの皆さまのストレスとならないよう改善に努めてまいります。

号砲までの寒さ対策として、衣類回収サービスや簡易ポンチョの配布については、引き続き取り組んでまいりますので、スタート前の寒さ対策としてご利用ください。

(5) スタートセレモニー

サブグラウンドでの待機になるとスタートイベントが音声でしか聞こえず、どのようなセレモニーが行われているか分からない。スマホで開会イベントの動画を見られるようにしてほしい。

サブグランドからのスタートでしたがスタートセレモニーの様子が全く分からなかった。コールアンドレスポンスの練習をしていたことも分からなかった。せめてモニターを設置するなどしてほしかった。アウェイ感が半端なかった。

スタート待機がとなりの競技場だったので、オープニングで話している内容も聞こえず、ただ待つのみで楽しめなかった。

【次回大会に向けて】

スタートセレモニーについては、スタート直前のランナーの皆さまが盛り上がるよう検討しており、2019大会からコールアンドレスポンスを取り入れました。しかし、スタート整列は、申込み時の申告タイムに応じた待機ブロックを指定させていただいている上に、会場規模の関係で、陸上競技場と補助競技場に分かれております。補助競技場において、セレモニーの声だけ聞こえて盛り上がりには欠けるとのお声を多く頂戴しております。大会事務局でも課題であると認識しており、これからも、スタート会場の一体化について検討してまいります。

(6) 給水・給食

マイカップ給水が各給水所 1カ所で最後であり、ちゃんとあるのかいってみたいと不安で、つい最初に見える紙コップを使ってしまった。給水所の最初にマイカップ給水をおいてほしい。

スタッフの方が多く、ゴミ箱も頻繁に設置されていた点、とても良かったです。

給水所設置とは反対側の道路にもゴミ箱を設置していただけると助かるなと思いました。給水カップを取ってから、走りながら給水する際、ランナーで混雑している側と反対側を走るため給水の案内が低くて、テーブルがいくつあるのかが見えなかった。

給水場所を 1/4 (今の数/総数) と表示するのは良いアイデアだと思いますが、肝心の表示が下過ぎて、人が集まっていると見えない。高いところに表示していただけるとありがたい。

河川敷コースで給水所の水が無くなったのはお粗末。

給食は、八つ橋以外は、京都らしいものがないという声は毎年多くあがっているとおもいますが、今年の京都米おにぎりはとても美味しかった。

街中は陽が当たらない場所もあり体が冷えきった時があったので、体を温める給水・給食があればと思いました。

【次回大会に向けて】

2019大会から本格導入しましたマイカップ給水について、各給水所の最後にあり、分かりづらいつとの意見を多くいただきました。ランナーの滞留防止のため最後尾に設置しましたが、場所が分かりづらく、結果的に紙コップ給水を利用するケースが多くみられました。

2020大会は、マイカップ給水の設置場所をはじめ、各種看板の表示内容・高さ・種類など、給水がスムーズに提供できるよう検討のうえ、改善してまいります。

河川敷コースの給水所で水が不足した件については、大変申し訳ございません。あってはならないことであり、今後このようなことがないよう努めてまいります。

体を温める給水・給食については、事務局としても提供したい思いは持っておりますが、ランナー全員に温かい飲み物・給食を提供することは、運営の観点から現時点ではとても難しいと判断しております。何卒ご理解ください。

(7) トイレ (コース沿道)

トイレの案内がとても分かりやすく良かったです。また、レース中のトイレの数も多かった のでストレスなく利用できました。
次のトイレまでの距離数が表示されていたのは良かった。現在の混みようと合わせて考えて、 今にするか、次にするかの判断ができた。
次のトイレまでの距離はありがたいのですが、できればトイレの個室数も記載してくれると嬉 しい。

【次回大会に向けて】

トイレについて貴重なご意見ありがとうございます。

ランナーの皆さまにはトイレの距離・個数を的確にお伝えし、少しでも混雑が緩和できるように取
り組んでまいります。

(8) 時間制限関門・医療救護

制限時間が少し短く感じ、関門の目前でタイムオーバーとなってしまいました。
関門の表示が分かりにくい。どこが関門だか分からない。
関門の表示が少ないので、あと何分でタイムオーバーなのか全く分からなかった。
ボランティアの方にも自分のいる位置から次の関門時間を把握してほしいです。聞いても あやふやだったりして、時間にびくびくしながら走っていました。
途中で足がつってしまい途中棄権も頭をよぎりました。後続のランナーの方にスプレー噴射し てもらい、レースを続けることができました。救護コーナーにはわざわざスプレーの扱いがな いと掲示されていましたが、なぜでしょうか？

【次回大会に向けて】

時間制限関門の表示などについては、看板の設置やボランティアの研修を充実させ、改善に努めて
まいります。

救護所でのコールドスプレーについては、京都マラソンでは、重篤な患者への救護を最優先として
いるため、コールドスプレーは設置していません。ご理解いただきますようお願いいたします。

(9) ニックネームゼッケン・仮装

大会運営、沿道のボランティアの方が、ニックネームで応援してくださるのも嬉しかったです。
今回ニックネーム入りのゼッケンを申し込み、ちょっと恥ずかしい気持ちもありましたが、走 ったら色んなところで何十回も声援を頂き感動しました。
沿道の声援も多く、ゼッケンのニックネームをたくさんの方に呼んで頂けるので非常に励み になります。
仮装ランナーを禁止していることは、ランナーとして気持ちよく走れる要因の一つです。
着ぐるみ禁止といいつつも、ほぼ着ぐるみみたいな人が毎年数人いる。かぶりものぐらいはよ いが、禁止というならばもう少ししっかり浸透させてもらいたい。

【次回大会に向けて】

ニックネームゼッケンについては、沿道からの声援をダイレクトに受けることができるため大変好評です。引き続き実施してまいりますので、次回大会でも是非ご利用いただき、沿道からの声援を力にかえてください。

仮装については、ランナーが密集している中で周囲のランナーに危険が生じる可能性もあるため禁止しています。仮装しながら走ることで盛り上がる一面があることは事務局でも理解しておりますが、京都マラソンではランナーの皆さまの安全面を優先し、このような方針となっております。引き続き、しっかりと周知に努めてまいります。

(10) コース

コースのアップダウンがしんどく、河川敷では走りにくかった。
起伏があつてきついコースだけど、そのぶん完走の達成感を味わうことができた。
京都のまちなみを走れ、すごく楽しかったです。河川敷のコースは道幅が狭いのと足元が滑りやすくやや走りにくい印象でした。
コースが折り返しばかりで辛かった。
折り返しが多い点や道幅が狭い点、河川敷のコースが混じる（走りにくい）点など改善してほしい。
河川敷や折り返しコースの幅が狭いため、歩いているランナーがいると走れなくなってしまいます。歩くかたは端を歩いていただくよう案内していただくとスムーズに走れるかと思います。
植物園の中コースは今回初めて走りましたが、想像以上に良かったです。

【次回大会に向けて】

京都マラソンのコースは、京都の街並みを楽しんでいただきたいと考えて設定しております。

河川敷のコースについても一部狭いエリアがありますが、走路幅を確保するためネットフェンスを導入し、ランナー同士の接触を避けるため歩くランナーは右側へ誘導するなどの各種対策を講じております。

引き続き、ランナーの皆さまの安心・安全を確保できるように対策を検討してまいります。

(11) フィニッシュ会場

フィニッシュ付近での応援者の待ち合わせ場所の案内がわかりづらい。
男子更衣室からフィニッシュ地点に応援に行きたくても行き方がわかりにくい。
フィニッシュした後の更衣室が狭く、落ち着いて着替えが出来ない。2年前も同じだったので、改善して欲しい。
フィニッシュ後の更衣スペースを吹きさらしではなく、部屋の中にしていただきたい。走った後は、脱水で低体温になっているため吹きさらしだと寒い。
フィニッシュ後のおにぎりは良かったです。

【次回大会に向けて】

フィニッシュ会場の案内や更衣室について、ご不便をおかけし誠に申し訳ございません。会場の大幅なレイアウトが困難であるため、ランナーの皆さまに、より分かりやすい案内ができるよう検討す

るとともに、完走されたランナーの疲労を考慮しつつ、スムーズな動線が確保できるよう改善を重ねております。

フィニッシュ後の給食については、ランナーの皆さまが満足してもらえるよう毎年改善を重ねており、引き続き、ランナーの皆さまの疲れを癒せる給食を検討してまいります。

(12) おこしやす広場・おつかれさま広場

おこしやす広場、おつかれさま広場ともに美味しい食事ができる場所があり楽しみの一つです。
おつかれさま広場のマッサージ受付時間をあと 15 分延ばしていただければ嬉しいです。遅いランナーほど疲れ方が半端ないと思うので、もう少し工夫してもらえると助かります。
おもてなし屋台でなんか買いたかったがほとんどの席が陣取れてしまっていて帰ってしまった。
女子更衣室からおこしやす広場 3 階まで行くのが不便で、出来れば女子更衣室にも無料の足湯やお味噌汁を置いて頂けるとありがたいです。

【次回大会に向けて】

おこしやす広場は、京都マラソンへお越しくくださったランナーの皆さまを温かくお迎えし、おつかれさま広場は、出走されたすべてのランナーの疲れをいやすべくマッサージなどの提供をしております。

会場の関係上、すべての方にストレスなくご利用いただけていないことは承知しておりますが、少しでもランナーの皆さまに満足していただけるよう工夫してまいります。

(13) 参加賞・メダル・完走賞

参加賞は、Tシャツが欲しかった。選択制にしても良いかもしれない。
参加賞のマルチウェイカバーをそろそろ変えて欲しい。使わない人にとっては全く使わないし、何枚もいるものではないので、毎年エントリーしても参加賞の楽しみがない。
参加賞のマルチウェイカバーも満足ですが、個人的にはTシャツが欲しかった。
メダルは、京都らしいデザインでカッコいいです。ゴール後首にかけてもらえると更に嬉しいです！
メダルの紐部分は、「KYOTO MARATHON2019」という文字だが、2018の奈良マラソンはとても素敵な和模様のストラップだったので並べた時に、京都マラソンもそうあってほしいと思った。

【次回大会に向けて】

参加賞については、Tシャツが欲しいなど様々なご意見をいただいております。大会事務局としましては、2月開催であることから防寒対策としてネックウォーマーにも利用できるマルチウェイカバーを採用しております。

完走メダルについても楽しみにしていただいているランナーの皆さまにとって完走の記念になる素敵なメダルとして提供できるよう努めてまいります。

(14) 宿泊

受付時から京都の人たちに歓迎され、観光中も京都マラソンの応援。宿泊時や食事するときも歓迎してくれました。始まってもないのにいい大会と印象付けられました。

宿泊したホテルは荷物預りやカロリーメイトの配布など参加者に配慮したサービスもっており、町を挙げてのイベントなんだと感ずることができました。シャトルバスもすぐ乗ることができスムーズに帰路につくことができました。

マラソン大会前日（土曜日）の京都市中心部のホテルがすぐに満室となって予約するのに苦労する。しかも他の週末に比べて、宿泊料が高すぎる所が多い。受付が前日でなければ、ホテルの確保など余計な心配なくて済むと思う。

【次回大会に向けて】

京都マラソンでは、宿泊案内を行っているホテルなどに対して、ランナーの皆さまのために朝食時間を早めるなどのサービスを要請しており、これに応じていただいているホテルも多数ございます。

引き続きランナーの皆さまのニーズに合ったホテルなどを案内できるよう取り組んでまいりますので、是非京都マラソンの宿泊サイトからそれぞれのニーズにあったホテルをご利用ください。

(15) 沿道盛り上げ隊・沿道応援

ボランティアや沿道応援にとっても感動しましたし満足しています。決め細やかな「おもてなし」の心が伝わりました。また、是非参加したいです。

沿道の応援が近くて、ハイタッチゾーンなどの表示もあり楽しめました。仁和寺の応援、植物園での舞妓さんも良かったです。

沿道の応援は素晴らしく、小さい子供やお年寄りまで、たくさんの方とハイタッチできました。

ハイタッチゾーンは、ランナーのやる気を高揚させるものがあって、次回以降も続けてほしい。

ボランティアさんや沿道の応援、チアや大学生の踊りなど、素晴らしくて感動しました。応援団の方々の迫力ある太鼓、踊り、バンドなど盛り上げ方がハンパないです、すごく楽しい。

沿道の声援、盛り上げ隊のパフォーマンスなど京都の皆さんに心から感謝いたします。小さなお子様の声援には背中を押されました。

仁和寺の僧侶の方や、舞妓さんの応援や、沿道盛り上げ隊の皆さま、沿道の一般の方々の暖かい応援など、とても京都らしい素晴らしい大会だったと思います。盛り上げ隊の皆さまの応援が、太鼓の応援が多く、太鼓の応援は、凄く迫力があってとてもいいのですが、ブラスバンドや、音楽の応援が、もう少しあってもいいかなと感じました。

【次回大会に向けて】

京都マラソンのコース沿道にある大学をはじめ、様々な団体からランナーの皆さまへエールを送る沿道盛り上げ隊について、多くの方からありがたいお言葉を頂戴しております。

引き続き、多くのランナーを後押しできるよう温かなおもてなしと熱い声援が沿道で送れるよう努めてまいります。

(16) 海外ランナー

海外の方のマナーの悪さが目立つ。何でもかんでも受け入れるのではなく、きちんと制限をかけてもらいたい。

海外の方のマナーが気になりました。ぶつかっても何にも言わず音楽を聴いていたり、そこだけが残念でした。中には良い人もいましたが。

毎年でなくていいので何回かに1回は海外枠を増やしたらどうでしょうか？日本人である私がここまで歓迎してもらい、本当にいいところだと思いました。これを海外の方たちにも知ってほしいです。JapanのKyotoを走れる！ すごく歓迎してくれた。ここはいいところだ。と感じてもらえると嬉しいです。

【次回大会に向けて】

海外ランナーも含め、ランナーの方々へのマナー啓発に力を入れてまいります。

京都マラソンは、海外から出走を希望されるランナーが多いのも特徴です。今回いただきました意見を踏まえ海外ランナーと日本人ランナーのバランスについて、全体を見ながら考えてまいります。

(17) ボランティア

とても素晴らしい、楽しい大会でした。ボランティアのみなさん全員が温かかったです。

受付会場で声をかけてもらって、1人での参加で心細かったので、とても嬉しかったです。

運営スタッフ、ボランティアの方々の対応が非常に素晴らしく、勇気をたくさんもらえました。

ボランティアスタッフさんがすごく多く、親切で熱心な応援もしていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

沿道の声援はすごくパワーをもらえるというのを改めて感じました。ボランティアスタッフも一生懸命で気持ちよく走れました

スタッフやボランティアの方々の対応が素晴らしく応援が非常に多い大会でした。非常に満足できる大会でした。

沿道やボランティアの方々の応援の声がすばらしく、私のランニングを後押ししてくれました。

【次回大会に向けて】

多くのランナーの皆さまから、京都マラソンを支えていただいているボランティアの方々への感謝の気持ちをいただき、事務局としても大変ありがたく感じております。

引き続き、「走る人、支える人、みんなが主役」の大会としてボランティアの方とともに運営を充実してまいります。

また、ボランティアとして京都マラソンに参加いただければ、別の視点から京都マラソンをお楽しみいただけたと思います。ランナーとしてもボランティアとしても、京都マラソンに是非ご参加ください。

(18) ペア駅伝

夫婦でペア駅伝に出場し、今までで一番楽しい大会で一番の思い出になりました。運営にかかわっていただいた方に非常に感謝しています。ありがとうございました。

ペア駅伝でのランナー引き継ぎの案内が不親切であった。第2走者の待合場所（更衣室）にも第1走者の25キロ通過告知を表示してほしかった。引き継ぎ後の第1走者のゴール地点までの移動の案内が徹底していなかった。

ボランティア（スタッフ）さんが「屈辱の白襷」と言われたことが、とてもイヤな気持ちになりました。遅くともゴールに向かって走っている人に対して失礼だと思います。

襷を渡した後に中継地点からフィニッシュ地点までにまとめてバスなどで移送していただけるとよかったです。地下鉄を乗り継いで、第2区の走者の荷物も持って、フィニッシュ地点まで移動するのが一番体力的にきつかったです。

1区を走った夫は残念ながら繰り上げ出走の時間に間に合わず、繰り上げ出走6分後に1区をゴールしました。でもフィニッシャーズタオルはもらえなかったそうです。タスキは繫げなかったですが、ゴールまで走ったのでタオルももらえたらよかったのに…と思いました。

【次回大会に向けて】

中継点におけるスタッフ（ボランティア）により不愉快な気持ちになられたこと、誠に申し訳ございません。今一度、研修の場において指導するとともにペア駅伝の引継ぎ、フィニッシュ会場までのアクセスの周知など、案内の徹底につとめてまいります。

中継点からフィニッシュ会場までのバス輸送については、交通規制もかかっており、地下鉄が最も便利であると考えております。1区ランナーの皆さまには、お疲れのところ、ご不便をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

制限時間内にタスキを渡せなかった1区走者のランナーサービスについて、多くのご意見をいただきました。今回のご指摘を踏まえまして、繰り上げとなった1区走者のランナーサービスについて検討のうえ、改善に努めます。

（19）大会運営全般

学生時代を過ごした街なので、コース各所に思い出があり、楽しく、懐かしく走れました。大会運営もスムーズで、ボランティアのサポート、沿道の応援、会場の雰囲気も素晴らしく、是非来年も参加したい。

忙しい毎日の中で、走る時間も取るのが難しい状態でしたが、京都生まれ京育ち、地元という事もあり走りたい気持ちだけは強くありました。不安もいっぱいありましたが、沿道の（特にご高齢の方々）応援が温かく走りきる事が出来ました。地元を走れる嬉しさ、有り難さを感じた大会でした。大会運営の皆さん、ボランティアの皆さん携わって頂いた全ての方に感謝いたします。

参加するたびに、ランナーがランニングしやすい環境を提供することに関して大会運営が進化・進歩していると感じる。これからも進歩し続けて欲しい。「日本一」の大会を目指して。

全体として、とても良い大会で楽しかったです。運営の皆様、地元住民企業ほかの皆様、大変ありがとうございました。観光客が多い国際的観光都市であり、狭い面積の都市の中を、あの様な素晴らしい大会運営して頂いたことを重ねて御礼申し上げます。エコカップ、使いました。凄く良いです。多くのファンランナーに広がって行けば良いなと思いました。他人を思いやり、ものを大切にする日本人の心情に合っていると思いました。

【次回大会に向けて】

京都マラソンへの様々なご意見をいただきまして誠にありがとうございます。

ランナーの皆さまからいただきましたご意見を踏まえつつ、引き続きランナーの皆さまから愛される大会となるよう運営の改善に努めるとともに、より多くの方に満足いただけるよう邁進してまいります。

今後とも忌憚のないご意見・ご要望やご感想をお寄せください。

京都マラソン 2019 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰

龍谷大学経営学部 教授 松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部 教授 永積 仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ部建工科学部スポーツ・マーケティング研究室

マラソン調査研究チーム

研究代表 二宮浩彰

<二宮研究室大学院生>

胡威 徐嘉楓